OLYMPUS

ボイストレック

DS-902

取扱説明書

準備 1
録音について 2
再生について 3
スケジュールについて 4
メニューについて 5
Wi-Fi 機能について 6
パソコンでの活用について 7
資料 8

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

JP

目次

各部のなまえ……4
レコーダー……4
ディスプレイ……5

1 準備

準備する……11
箱の中身を確認する……11
電池を入れる……12
USB 接続 AC アダプタ（A514）に接続して充電する……13
パソコンの USB 端子に接続して充電する……14
電源を入れる……16
日時を合わせる……16
音声ガイドを設定する……17
電池について……18
SD カードを入れる／取り出す……20
SD カードを入れる……20
SD カードを取り出す……21
誤操作を防止する……23
ホールドにする……23
ホールドを解除する……23
電源を切る……24
電源を切る……24
［ホーム］画面の操作……25
モードを選択する……25
フォルダについて……27
音声録音用フォルダ……27
音楽再生用フォルダ……27
DAISY 再生用フォルダ……28
テキストファイル再生用フォルダ……28
フォルダとファイルの選びかた……30
音声認識機能について……31
モードを切り替える……31
メニューを呼び出す……31
時刻を入力する……32
フォルダ名を変更する……32

2 録音について

録音する……33
基本的な録音のしかた……33
録音を一時停止する／再開する……35
録音中の音声を聞くには……36
外部マイクを使って録音する……37
外部マイクで録音する……37
他の機器と接続して録音する……38
他の機器の音声を本機で録音する……38
本機の音声を他の機器で録音する……38
シーンに合わせて録音する［録音シーン］……39
録音シーンの選びかた……39

3 再生について

再生する……41
基本的な再生のしかた……41
イヤホンで聞くには……43
早送りをするには……43
早戻しをするには……44
ファイルの頭出しをするには……44
再生スピードを変更する……45
ABC リピート再生をする……46
しおり機能について……50
ファイルの途中で停止した位置を記憶する……50
ファイルの頭出しをするには……51
インデックスマーク・テンプマークについて……52
インデックスマーク・テンプマークを付ける……52
インデックスマーク・テンプマークを消去する……52
カレンダー検索機能を使う……53
カレンダー検索機能を使ってファイルを探す……53
消去する……55
ファイルを消去する……55
フォルダを消去する……56
ファイルの一部分を消去する……56

4 スケジュールについて

スケジュール画面を表示する……59
スケジュール画面を操作する……59
ボイスメモを登録する……60
指定した日にボイスメモを録音する……60
ボイスメモを聞く……61
登録したボイスメモを再生する……61
ボイスメモをアラーム再生する……62
ボイスメモを再生する時刻を設定する……62
ボイスメモを消去する……64
ボイスメモを消去する……64

5 メニューについて

メニュー設定のしかた……65
基本的な操作のしかた……65
メニューの一覧……67

目次

録音メニュー［録音設定］ 73
録音感度を選択する［録音レベル］ 73
録音モードを設定する［録音モード］ 75
マイクの指向性を選択する［ズームマイク］ 76
ノイズを軽減して録音する［ローカットフィルタ］ 77
予約録音を設定する［タイマー録音］ 78
フォルダの名前を変更する［フォルダ名］ 82
録音モニターを設定する［録音モニター］ 83
再生メニュー［再生設定］ 84
非音声部分をスキップして再生する［声だけ再生］ 84
ノイズを軽減して再生する［ノイズキャンセル］ 85
小さい音を補正して再生する［ボイスバランサー］ 86
再生モードを選択する［再生モード］ 87
スキップ間隔を設定する［スキップ間隔］ 88
音声を文章化するときの効率を上げる［文字起こし再生］ 90
ファイルメニュー［ファイル設定］ 92
ファイルの音声部分を抽出する［声だけ抽出］ 92
ファイルの誤消去を防止する［ファイルロック］ 94
ファイルを並べ替える［並び替え］ 96
ファイルを移動／コピーする［ファイル移動／コピー］ 97
ファイルを分割する［ファイル分割］ 100
ファイルやフォルダの情報を見る［プロパティ］ 101
コンテンツフォルダを削除する［コンテンツ消去］ 103
表示／音メニュー［表示／音設定］ 104
バックライトを設定する［バックライト］ 104
LED 表示ランプを設定する［LED］ 105
ビープ音を設定する［ビープ音］ 106
表示言語を切り替える［言語選択 (Lang)］ 107
音声ガイドを設定する［音声ガイド］ 108
スピーカ出力を選択する［スピーカ出力］ 110
本体メニュー［本体設定］ 112
記録メディアを選択する［メモリ選択］ 112
省電力モードを設定する［スリープ］ 113
日付・時刻を合わせる［時計設定］ 114
USB 接続を設定する［USB 設定］ 116
設定をリセットする［設定リセット］ 117
記録メディアを初期化する［初期化］ 118
記録メディアの情報を確認する［メモリ情報］ 120
本機の情報を確認する［システム情報］ 121
Wi-Fi 設定の情報を表示する［Wi-Fi 設定］ 121
ブックメニュー［ブック設定］ 124
階層単位でスキップする［スキップモード］ 124
表示する文字コードを切り替える［文字コード］ 125
読み上げる言語を切り替える［テキスト言語］ 126
読み上げる範囲を設定する［HTML 読み上げ］ 128
DAISY コンテンツを取り込む［DAISY 取り込み］ 129

6 Wi-Fi 機能について

Wi-Fi 機能をご使用になる前に 131
OLYMPUS Audio Controller について 133

7 パソコンでの活用について

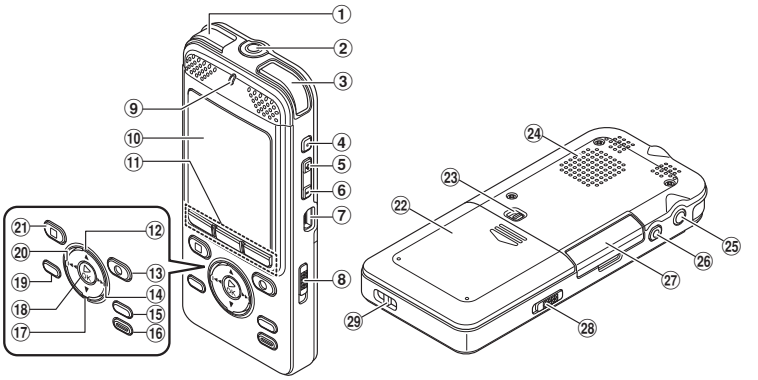
パソコンの動作環境 135
パソコンに接続する／取り外す 137
パソコンに接続する 137
パソコンから取り外す 138
Olympus Sonority でできること 140
ソフトウェアのインストール 142
ソフトウェアのアンインストール 144
オンラインヘルプの使いかた 145
DAISY について 146
アップグレード機能 147
ファイルをパソコンに取り込む 149
パソコンの外部メモリとして使う 150

8 資料

警告表示一覧 151
故障かな？と思ったら 153
お手入れ 156
アクセサリー（別売） 157
商標について 159
安全に正しくお使いいただくために 165
主な仕様 171
索引 176

各部のなまえ

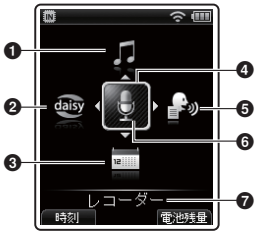
レコーダー



① 内蔵ステレオマイク（L）
② **マイク**ジャック
③ 内蔵ステレオマイク（R）
④ **シーン / ボイス**ボタン
⑤ 音量（**+**）ボタン
⑥ 音量（**−**）ボタン
⑦ USB 端子
⑧ **電源 / ホールド**スイッチ
⑨ LED 表示ランプ（LED）
⑩ ディスプレイ
⑪ **F1/F2/F3** ボタン
⑫ ▲ ボタン
⑬ **録音**（●）ボタン
⑭ ▶▶I ボタン
⑮ **メニュー**ボタン
⑯ **消去**ボタン
⑰ ▼ ボタン
⑱ ▶**OK** ボタン
⑲ **ホーム**ボタン
⑳ I◀◀ ボタン
㉑ **停止**（■）ボタン
㉒ 電池カバー
㉓ 電池カバーロック解除レバー
㉔ 内蔵スピーカ
㉕ **イヤホン**ジャック
㉖ **リモート**ジャック
別売のリモコンセット RS30W の受信部を接続します。リモコンで本機の録音／停止の操作ができます。
㉗ カードカバー
㉘ **Wi-Fi ON/OFF** スイッチ
㉙ ストラップ取り付け部

ディスプレイ

■［ホーム］画面



❶［ミュージック］モード（☞ P.41）
❷［DAISY］モード（☞ P.41）
❸［スケジュール］モード（☞ P.59）
❹ カーソル
❺［テキストスピーチ］モード（☞ P.41）
❻［レコーダー］モード（☞ P.33）
❼ 現在選ばれているモード

ヒント

- ［**ホーム**］画面で停止中に **F1（時刻）** ボタンを押すと［**現在日時**］を確認できます。現在日時が合っていない場合、「**日付・時刻を合わせる［時計設定］**」（☞ P.114）をご覧ください。

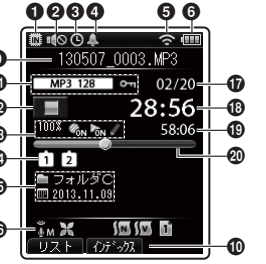
ディスプレイ

■ [レコーダー] モード：

フォルダリスト表示

ファイルリスト表示

ファイル表示



❶ 記録メディア（☞ P.112）
- [IN]：内蔵メモリ
- [SD]：SD カード

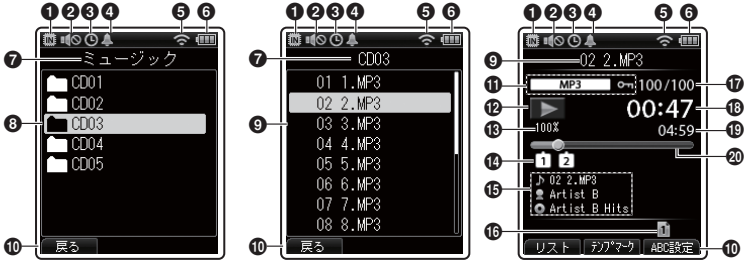
❷ スピーカ出力（☞ P.110）
❸ タイマー録音（☞ P.78）
❹ アラーム再生（☞ P.62）
❺ Wi-Fi（☞ P.121）
❻ 電池（☞ P.18）
❼ 現在のフォルダ名
❽ フォルダ名
❾ ファイル名
❿ ファンクションボタンガイド
⓫ 録音モード（☞ P.75）、ファイルロック（☞ P.94）
⓬ 本機の動作状態
- [●]：録音（☞ P.33）
- [●‖]：録音一時停止（☞ P.35）
- [■]：停止
- [▶]：再生（☞ P.41）
- [▶▶]：早送り（☞ P.43）
- [◀◀]：早戻し（☞ P.44）
- [▶‖]：早聞き再生（☞ P.45）
- [▶]：遅聞き再生（☞ P.45）

⓭ 再生スピード（☞ P.45）、声だけ抽出（☞ P.92）、声だけ再生（☞ P.84）、文字起こし再生（☞ P.90）
⓮ インデックス（テンプマーク）（☞ P.52）
⓯ フォルダ、録音日時
⓰ アイコン表示部（☞ P.10）
⓱ フォルダ内ファイル番号 / フォルダ内総ファイル数
⓲ 録音経過時間、再生経過時間
⓳ 録音可能残り時間、ファイル長
⓴ メモリ残量バー、再生位置バー

ディスプレイ

■［ミュージック］モード：

フォルダリスト表示　ファイルリスト表示　ファイル表示



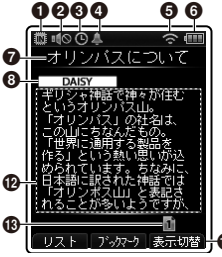
❶ 記録メディア（☞ P.112）
［IN］：内蔵メモリ
［SD］：SD カード
❷ スピーカ出力（☞ P.110）
❸ タイマー録音（☞ P.78）
❹ アラーム再生（☞ P.62）
❺ Wi-Fi（☞ P.121）
❻ 電池（☞ P.18）
❼ 現在のフォルダ名
❽ フォルダ名
❾ ファイル名
❿ ファンクションボタンガイド
⓫ ファイルフォーマット（☞ P.45）、ファイルロック（☞ P.94）
⓬ 本機の動作状態
［■］：停止
［▶］：再生（☞ P.41）
［▶▶］：早送り（☞ P.43）
［◀◀］：早戻し（☞ P.44）
［▶▶|］：早聞き再生（☞ P.45）
［▶|］：遅聞き再生（☞ P.45）
⓭ 再生スピード（☞ P.45）
⓮ インデックス（テンプマーク）（☞ P.52）
⓯ タイトル名、アーティスト名、アルバム名
⓰ アイコン表示部（☞ P.10）
⓱ フォルダ内ファイル番号 / フォルダ内総ファイル数
⓲ 再生経過時間
⓳ ファイル長
⓴ 再生位置バー

ディスプレイ

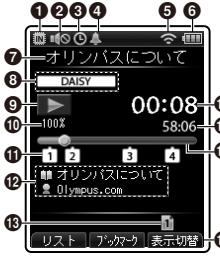
■ [DAISY] モード :

テキスト表示

フルテキスト表示



ブック情報表示



❶ 記録メディア（☞ P.112）
[IN] : 内蔵メモリ
[SD] : SD カード
❷ スピーカ出力（☞ P.110）
❸ タイマー録音（☞ P.78）
❹ アラーム再生（☞ P.62）
❺ Wi-Fi（☞ P.121）
❻ 電池（☞ P.18）
❼ タイトル名
❽ ファイルフォーマット（☞ P.45）
❾ 本機の動作状態
[■] : 停止
[▶] : 再生（☞ P.41）
[▶F] : 早聞き再生（☞ P.45）
[▶S] : 遅聞き再生（☞ P.45）
❿ 再生スピード（☞ P.45）
⓫ インデックス（テンプマーク）（☞ P.52）
⓬ テキスト表示、ブック情報表示
⓭ アイコン表示部（☞ P.10）
⓮ 再生経過時間
⓯ ファイル長
⓰ 再生位置バー
⓱ ファンクションボタンガイド

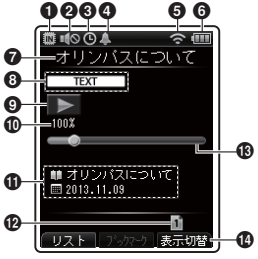
ヒント

- **F3**（**表示切替**）ボタンを押すたびに、テキスト表示 ➔ フルテキスト表示 ➔ ブック情報表示に切り替わります。

ディスプレイ

■［テキストスピーチ］モード：

ファイル情報表示



テキスト表示

❶ 記録メディア（☞ P.112）
［IN］：内蔵メモリ
［SD］：SD カード
❷ スピーカ出力（☞ P.110）
❸ タイマー録音（☞ P.78）
❹ アラーム再生（☞ P.62）
❺ Wi-Fi（☞ P.121）
❻ 電池（☞ P.18）
❼ 現在のファイル名
❽ ファイルフォーマット（☞ P.45）
❾ 本機の動作状態
［■］：停止
［▶］：再生（☞ P.41）
［▶F］：早聞き再生（☞ P.45）
［▶S］：遅聞き再生（☞ P.45）
❿ 再生スピード（☞ P.45）
⓫ ファイル情報表示、テキスト表示
⓬ アイコン表示部（☞ P.10）
⓭ 再生位置バー
⓮ ファンクションボタンガイド

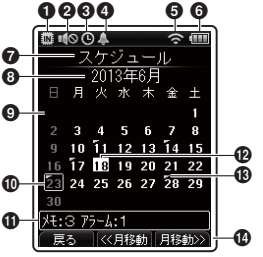
ヒント

- **F3**（**表示切替**）ボタンを押すたびに、ファイル情報表示 → テキスト表示に切り替わります。

ディスプレイ

■［スケジュール］モード：

カレンダー画面



❶ 記録メディア（☞ P.112）
［IN］：内蔵メモリ
［SD］：SD カード
❷ スピーカ出力（☞ P.110）
❸ タイマー録音（☞ P.78）
❹ アラーム再生（☞ P.62）
❺ Wi-Fi（☞ P.121）
❻ 電池（☞ P.18）
❼ タイトル
❽ 表示中の年月
❾ カレンダー（☞ P.53、P.59）
❿ 選択した日付
⓫ 選択している日の登録件数および設定内容
（メモ：3 件　アラーム：1 件）
⓬ 現在の日付
⓭ 音声メモ / アラーム再生登録済み
⓮ ファンクションボタンガイド

アイコン表示部（全モード共通）

［M］：録音レベル
［HC］：ローカットフィルタ
［Z］：ズームマイク
［N］：ノイズキャンセル
［V］：ボイスバランサー
［ALL］［1］［■］：再生範囲
［↵］：リピート

準備する

箱を開けたら以下の順番で準備を行ってください

準備 1 **箱の中身を確認する**
すべて揃っていますか？

▼

準備 2 **電池を入れる**

▼

準備 3 **充電する**

▼

準備 4 **電源を入れる**

▼

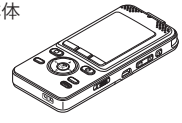
準備 5 **日時を合わせる**
ファイル管理のために時計を合わせましょう

▼

準備 6 **音声ガイドを設定する**

箱の中身を確認する

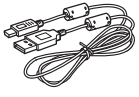
本体



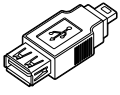
リチウムイオン充電池
（LI-50B）

AC アダプタ（A514）

USB 接続ケーブル



USB 変換アダプタ

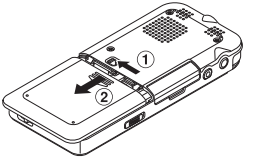


- イヤホン
- 取扱説明書（保証書付）
- CD-ROM
- キャリングケース
- ストラップ

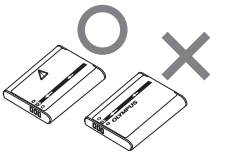
電池を入れる

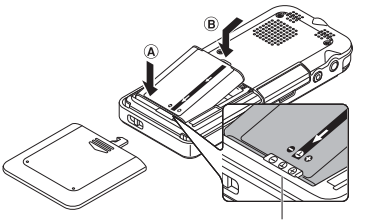
本機をご使用になる前に袋から電池を取り出し、本機にセットしてください。

1 電池カバーロック解除レバーを矢印の方向にスライドさせながら、電池カバーを開ける



2 裏ラベルを上にして、本機と電池の端子部を合わせ、Ⓐ の方向に押し付けながら、Ⓑ の方向に押し込んで取り付ける





本機の突起部分の下に電池の先端が入るようにセットします。

3 電池カバーをスライドさせて完全に閉める

ご注意

- 電池カバーロックがカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- 電池の挿入が不十分なまま、電池蓋を閉めないでください。
- 電池の端子に金属製の異物やゴミが付着していない事を確認してください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池が無い状態で動作させないでください。使用するときは必ず電池を入れてください。

USB 接続 AC アダプタ（A514）に接続して充電する

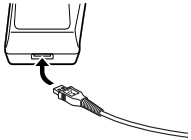
本機に付属の AC アダプタ（A514）を接続して充電できます。また長時間の録音を行うなど、時間がかかる作業を行う場合には、AC アダプタのご使用をおすすめします。

ご確認

- リチウムイオン電池は自己放電特性をもっています。録音する前には充電を行ってください。
- USB 接続する前に、ホールドを解除してください（☞ P.23）。

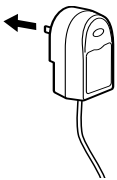
1 USB 接続ケーブルを AC アダプタの USB 端子に接続する

AC アダプタに USB ケーブルを接続

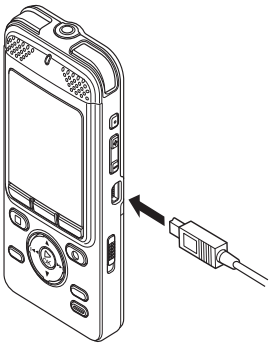


2 AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する

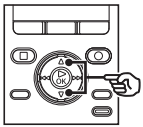
家庭用電源コンセントへ



3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する



4 ▲ または ▼ ボタンを押して［AC アダプタ接続］を選ぶ



USB 接続 AC アダプタ（A514）に接続して充電する

5 ▶**OK** ボタンを押して充電を開始する

6 電池表示が［F］になったら充電は終了です

充電時間：約 3 時間 *

* 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。
充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

ご注意

- オリンパス製 USB 接続 AC アダプタ（A514）以外の AC アダプタを使用しないでください。

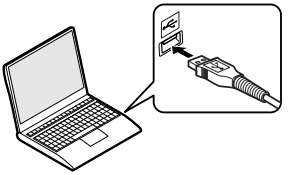
パソコンの USB 端子に接続して充電する

ご確認

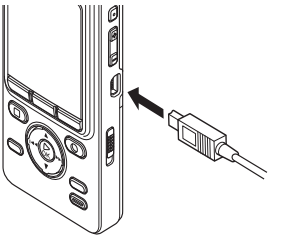
- USB 接続する前に、ホールドを解除してください（☞ P.23）。

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する

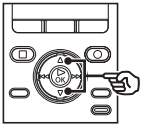


3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する



パソコンの USB 端子に接続して充電する

4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**PC 接続**］を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押して充電を開始する

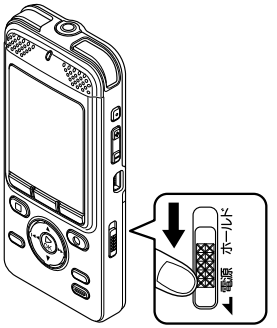
6 ［**充電完了**］と表示されたら充電は終了です

ご注意

- パソコンの電源が入っているときにＵＳＢ接続して充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続するときは USB ハブを使用しないでください。
- ［ ］ ***1*** または ［ ］ ***2*** が表示されている場合は充電できません。周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境で充電してください。
  1 ［ ］：周囲の温度が低い場合
  2 ［ ］：周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- ［**USB 設定**］の設定を［**コンポジット**］にして充電する場合は、接続時に［**AC アダプタ接続**］を選ぶと、充電できるようになります（☞ P.116）。

電源を入れる

1 本機の電源が切れている状態で**電源 / ホールド**スイッチを矢印の方向へスライドさせる



電源／ホールドスイッチ

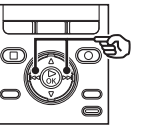
ご注意

- 初めてご使用になる場合は充電してください（☞ P.13）。

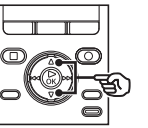
日時を合わせる

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



2 ▲ または ▼ ボタンを押して数字を変更する



- 他の項目を変更する場合は、▶▶I または I◀◀ ボタンで点滅を移動し、▲ または ▼ ボタンで数字を変更します。

3 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

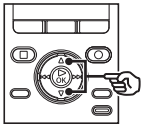
ヒント

- 設定の途中に ▶**OK** ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 日時の表示形式を変更できます。詳しくは「**日付・時刻を合わせる［時計設定］**」をご覧ください（☞ P.114）。

音声ガイドを設定する

本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。

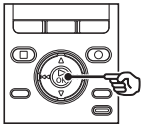
1 ▲ または ▼ ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ



［**ON**］：音声ガイドが機能します。

［**OFF**］：音声ガイドは機能しません。

2 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する



ヒント

- 音声ガイドは［**ON/OFF**］、［**スピード**］、［**音量**］の設定ができます。詳しくは「**音声ガイドを設定する【音声ガイド】**」（☞ P.108）をご覧ください。

電池について

充電池について

リチウムイオン充電池（Li-50B）をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 ～ 42℃
充電：5 ～ 35℃
長期保管：－ 20 ～ 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電池を取り外して保管してください。

ご注意

- リチウムイオン充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 充電池は関係する法令に従って処分してください。充電池を完全に放電しないで処分するときは、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。
- 電池を交換する際は、本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 本機から電池を抜いた状態が 15 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、日時の設定が必要になる場合があります。詳しくは**「日付・時刻を合わせる［時計設定］」**（☞ P.114）をご覧ください。
- 本機を長期間ご使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。
- 充電池をお買い求めの際は、必ずリチウムイオン充電池（Li-50B）をお選びください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 電池表示が［ ］であっても内蔵スピーカで再生すると音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合は、音量を下げてご使用ください。
- SD カードご使用時は電池持続時間が短くなります。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します（☞ P.173）。
- 繰り返し使用したリチウムイオン充電池は劣化により電池持続時間が短くなります（☞ P.173）。

電池について

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。

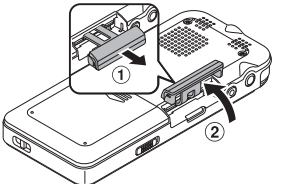
- [ ] が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電してください。電池残量がなくなると、[ ] と［**電池残量がありません**］が表示され、動作が停止します。

SD カードを入れる／取り出す

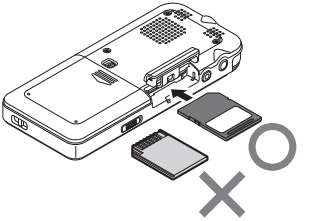
本機では内蔵メモリのほかに市販の SD カード（SD、SDHC、SDXC）をご使用になれます。

SD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける



2 図のように SD カードの向きを正しく合わせて入れる

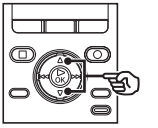


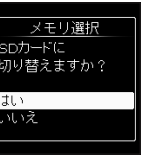
- SD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。
- SD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、SD カードが抜けなくなる場合があります。
- カチッと音がする位置まで SD カードが挿入されていないと、SD カードに記録できない場合があります。

3 カードカバーを閉じる

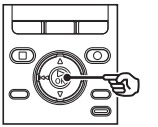
- SD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

4 SD カードに記録する場合、▲ または ▼ ボタンを押して［**はい**］を選ぶ





5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する



ヒント

- 記録メディアを内蔵メモリに切り替えることもできます（☞ P.112）。

SD カードを入れる／取り出す

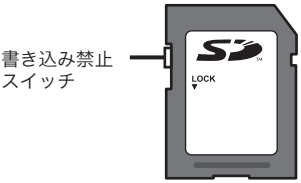
SD カードを入れる

ご注意

- パソコンなど他の機器でフォーマット（初期化）した SD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機で初期化してください（☞ P.118）。

SD カードについて

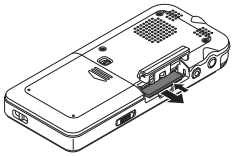
書き込み禁止スイッチが［**LOCK**］方向になっていると、録音や消去などができません。



SD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける

2 SD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



- SD カードが手前に出て止まります。SD カードをつまんで取り出してください。
- ［**メモリ選択**］の設定を［**SD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切り替えました**］と表示されます。

3 カードカバーを閉じる

SD カードを入れる／取り出す

SD カードを取り出す

ご注意

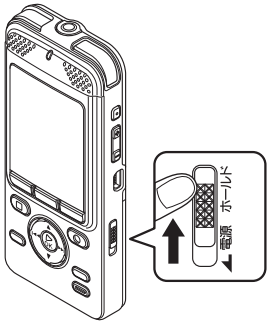
- SD カードを取り出す際に、SD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、SD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- SD カード、SDHC カード、SDXC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。
- 当社基準における動作確認済の SD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。
  http://olympus-imaging.jp/
  ホームページでは、当社が動作確認を行った SD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して SD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご利用の際は、SD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。
- SD カードが認識されない場合、SD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- SD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、SD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、SD カードを初期化し直してください (☞ P.118)。

誤操作を防止する

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

ホールドにする

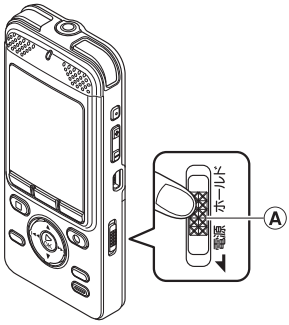
1 **電源 / ホールド**スイッチを［**ホールド**］の位置にスライドさせる



- ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する

1 **電源 / ホールド**スイッチをⒶの位置にスライドさせる



ご注意

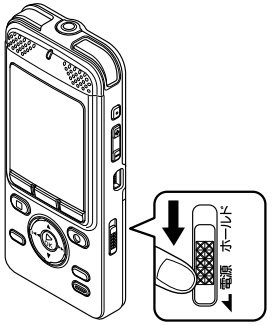
- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、LED 表示ランプが青色に点滅しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

電源を切る

電源を切る

電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

1 **電源 / ホールド**スイッチを矢印の方向へ 1 秒以上スライドさせる



- 電源を切る前の再生停止位置が記憶されています。

ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。

スリープモードについて

電源を入れて 10 分以上（初期設定）停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的にスリープ（省電力）モードに切り替わります（☞ P.113）。

- スリープモードを解除するには、**電源／ホールド**スイッチを矢印の方向へスライドさせて電源を入れてください（☞ P.16）。

[ホーム] 画面の操作

モードを選択する

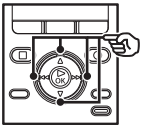
本機の電源を入れると、[**ホーム**] 画面が表示されます。
[**ホーム**] 画面は IC レコーダーやミュージックプレーヤーなど各機能の入り口になります。各機能については参照ページをご覧ください。

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。

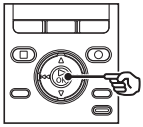
1 ホームボタンを押して [ホーム] 画面にする

- 録音中は [**ホーム**] 画面に切り替わりません。

2 ▲、▼ または ▶▶I、I◀◀ ボタンを押してモードを選ぶ

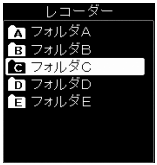


3 ▶OK ボタンを押す



[レコーダー] を選んだ場合：

[**レコーダー**] モードに切り替わり、マイクから録音したり本機で録音したファイルを再生できます（☞ P.33、P.41）。



[ホーム] 画面の操作

モードを選択する

[ミュージック] を選んだ場合：

[**ミュージック**] モードに切り替わり、本機に転送した音楽ファイルを再生できます（☞ P.41）。

[スケジュール] を選んだ場合：

[**スケジュール**] モードに切り替わり、選択した日付に音声によるメモを登録できます（☞ P.59）。

[テキストスピーチ] を選んだ場合：

[**テキストスピーチ**] モードに切り替わり、本機に転送したテキストファイルを音声に変換して再生できます（☞ P.41）。

[DAISY] を選んだ場合：

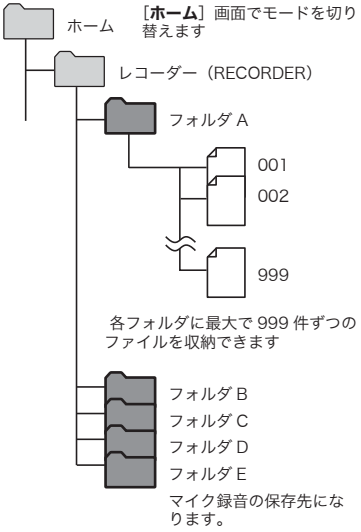
[**DAISY**] モードに切り替わり、付属の Olympus Sonority または CD-ROM から本機に転送した DAISY コンテンツを再生できます（☞ P.41、P.146）。

フォルダについて

データの記録メディアには、内蔵メモリまたは SD カードを使用できます。記録メディアにかかわらず音声ファイル、音楽ファイルやコンテンツファイルは、ツリー構造で構成されたフォルダに振り分けられて保存されます。保存されているファイルはお好みの順番に並べ替えることができます（☞ P.96）。

音声録音用フォルダ

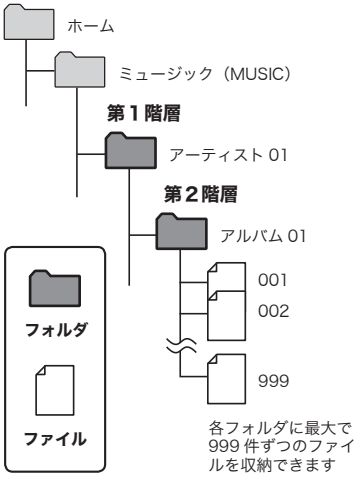
本機で録音した音声は、［**レコーダー**］（RECORDER）フォルダ内の［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］に保存されます。［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］はフォルダ名を変更できます（☞ P.82）。



［**レコーダー**］フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機で表示されません。

音楽再生用フォルダ

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。

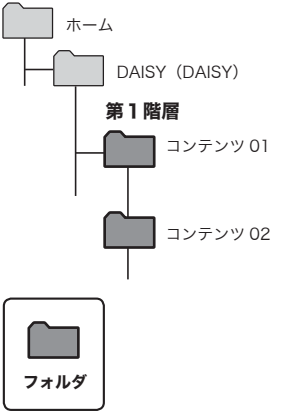


- ［**ミュージック**］フォルダには、ファイルとフォルダの合計で 999 件収納できます。
- ［**ミュージック**］フォルダ内に転送できる曲数は最大 6000 曲です。

フォルダについて

DAISY 再生用フォルダ

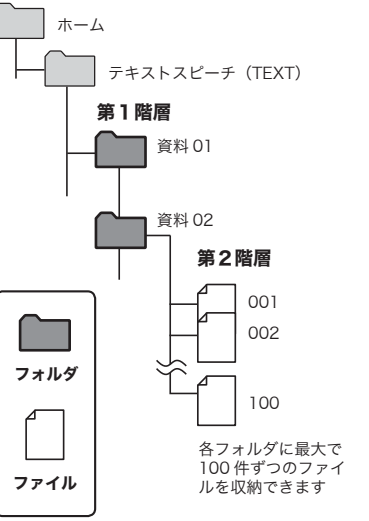
Olympus Sonority や CD-ROM から DAISY コンテンツを本機に転送すると、DAISY 再生用フォルダ内を下記の図のような階層構造でフォルダを自動作成します。



- ［**DAISY**］フォルダ内に転送できるコンテンツフォルダは最大 100 件です。

テキストファイル再生用フォルダ

パソコンなどを使って本機の［**テキストスピーチ**］（**TEXT**）フォルダに転送したテキストファイルを音声に変換して再生できます。



- ［**テキストスピーチ**］フォルダ内には、最大で 100 件のファイルが収納できます。
- ［**テキストスピーチ**］モードでは、最大 10MB のファイルまで再生できます。

フォルダについて

テキストファイル再生用フォルダ

パソコンから本機にテキストファイル（html、doc、docx、pdf）を転送すると、同じフォルダ内に別のファイル名で以下のようなファイルを自動的に作成します。

例：job report_001.html を本機に転送した場合

① job report_001_main.txt

② job report_001_all .txt
　　ⓐ　　ⓑ　ⓒ

ⓐ **ファイル名：**
転送したファイル名と同じになります。

ⓑ **読み上げ範囲：**
html 形式ファイルの場合に付きます。「_main」および「_all」の名前が付いた 2 種類のファイルを自動的に作成します（☞ P.128）。

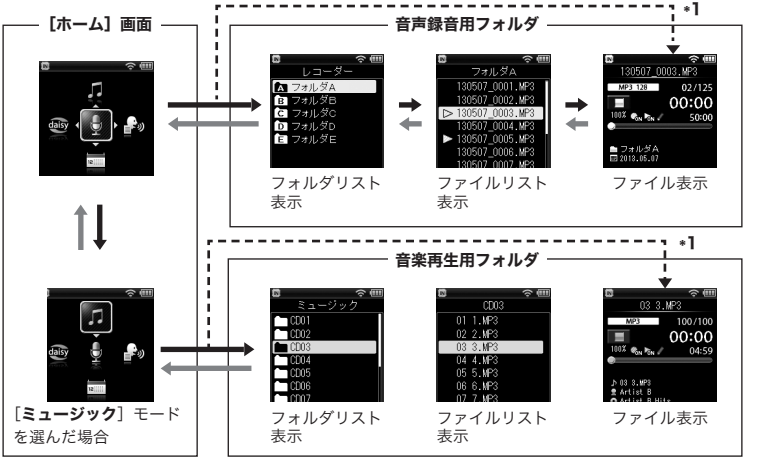
ⓒ **拡張子：**
拡張子はすべて「txt」になります。

ヒント

- 本書に記載されている各フォルダの名前は、パソコン上では以下の名前で表示されます（☞ P.149）。
  - ［**レコーダー**］フォルダ → ［**RECORDER**］
  - ［**ミュージック**］フォルダ → ［**MUSIC**］
  - ［**DAISY**］フォルダ → ［**DAISY**］
  - ［**テキストスピーチ**］フォルダ → ［**TEXT**］

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については「**フォルダについて**」をご覧ください（☞ P.27）。



*1 2回目以降は、［**ホーム**］画面から最後に再生したファイルのファイル表示画面に移行します。

➡ 進む：▶OK ボタン

押すたびにリスト表示で選んだフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。リスト表示は、▶▶I ボタンでも操作できます。

⬅ 戻る：F1（戻る / リスト）ボタン

押すたびに1つ上の階層に戻ります。リスト表示では、I◀◀ ボタンでも操作できます。

▲ または ▼ ボタン

フォルダやファイルを選びます。

ホームボタン

［**ホーム**］画面に戻ります。

［ホーム］画面：

本機のモードを切り替えます（☞ P.25）。

リスト表示：

本機に記録されているフォルダとファイルのリストが表示されます。

ファイル表示：

選んだファイルの情報が表示されます。

音声認識機能について

本機は音声認識機能を搭載しています。日時の設定やフォルダ名を変更する際の複雑な操作手順を行わずに、内蔵マイクに向かって音声を発するだけで自動的に認識して設定できます。また、停止中に音声による各モードへの切り替えやメニューの設定項目の呼び出しができます。

音声認識機能は本書内で マークがある機能を設定する時に使用できます。

モードを切り替える

[ホーム]、[**メニュー**]、[**レコーダー**]、[**ミュージック**]、[**DAISY**]、[**テキストスピーチ**]、[**スケジュール**] の各モード時に操作できます。

1 停止中に**シーン / ボイス**ボタンを押し続ける

2 内蔵マイクに向かって切り替えたいモード名を発声する

テンプレート一覧

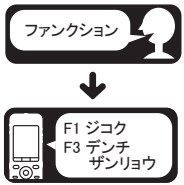
ホーム	メニュー	レコーダー	ミュージック
DAISY	テキストスピーチ	スケジュール	ファンクション

各モードへの移行	切り替えたいモード名を言います。 **例：[ミュージック] モードに切り替える場合**

3 **シーン / ボイス**ボタンを離す

[ファンクション] について

ファンクションボタンに割り当てられている機能を音声でお知らせします。

[ファンクション]	**例：[ホーム画面] の場合** 

メニューを呼び出す

[ホーム]、[**レコーダー**]、[**ミュージック**]、[**DAISY**]、[**テキストスピーチ**]、[**スケジュール**] の各モード時に操作できます。

1 停止中に**シーン / ボイス**ボタンを押し続ける

2 内蔵マイクに向かって呼び出したい設定項目名を発声する

[メニュー] (☞ P.67)	**例：[録音レベル] を呼び出す場合**

3 **シーン / ボイス**ボタンを離す

音声認識機能について

時刻を入力する

日時を設定する画面の表示中に操作できます。

1 停止中に**シーン / ボイス**ボタンを押し続ける

2 内蔵マイクに向かって設定したい「年月日」および「時刻」を発声する

[時計設定] (☞ P.16、P.114)	[**時計設定**] の「時」「分」「年」「月」「日」の設定時に、設定したい「年月日」と「時刻」を言います。 **例：2014 年 2 月 10 日の場合** 2014ネン2ガツ10カ ゴゼン10ジ20プン
[タイマー録音] (☞ P.78) **[アラーム設定]** (☞ P.62)	[**タイマー録音**] または [**アラーム設定**] の時間設定時に、設定したい時刻を言います。 **例：午前 10 時 20 分** ゴゼン10ジ20プン

3 **シーン / ボイス**ボタンを離す

フォルダ名を変更する

[**メニュー**] の [**フォルダ名**] を設定中に操作できます。

1 停止中に**シーン / ボイス**ボタンを押し続ける

2 内蔵マイクに向かって設定に関連した用語を発声する

[フォルダ名] (☞ P.82)	[**フォルダ名**] の設定時に、テンプレートに登録されている用語を言います。 **例：[仕事] に変更する場合** シゴト

3 **シーン / ボイス**ボタンを離す

ヒント

- 発声のしかたや口調によって、認識率が変わります。はっきりした口調でゆっくりと話してください。

ご注意

- 本機が再生中または録音中の場合は、音声認識機能は使用できません。停止中に操作してください。
- 周囲の雑音が多い場所では、音声を正しく認識しないことがあります。なるべく周囲が静かな環境でご使用ください。

録音について

録音する

本機では録音用に［］～［］の５つのフォルダを用意しています。ビジネス用やプライベート用など、録音する内容によって使い分けると便利です。

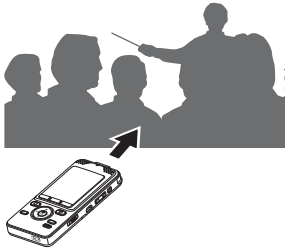
基本的な録音のしかた

1 ［ホーム］画面で▲、▼または I◀◀、▶▶I ボタンを押して［レコーダー］を選び、▶OK ボタンを押す（☞ P.25）

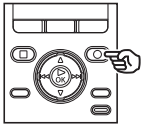
2 ▲ または ▼ ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

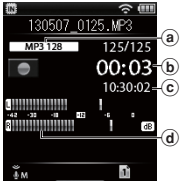
- 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

3 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



4 録音（●）ボタンを押して録音を開始する

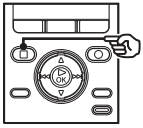




ⓐ 録音モード
ⓑ 録音経過時間
ⓒ 録音可能な残り時間
ⓓ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

- LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに［］が点灯します。

5 停止（■）ボタンを押して録音を停止する

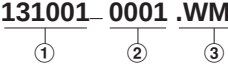


ⓔ ファイル長

- ディスプレイに［］が点灯します。

録音する

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。



①録音した日付：

録音した年月日になります。

②ファイル番号：

記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続して付けられます。

③拡張子：

本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。

- リニア PCM 形式：「**.WAV**」
- MP3 形式：「**.MP3**」
- WMA 形式：「**.WMA**」

ヒント

- ［**録音モード**］は停止中に設定してください（☞ P.75）。
- ［**ホーム**］画面の［**レコーダー**］を選択中に**録音**（●）ボタンを押すと、録音を開始します。録音したファイルは［**フォルダ A**］に保存されます。
- 目的に合わせて手動で録音レベルを調整できます（☞ P.73）。

ご注意

- 録音の頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.55）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.55）。
- 本機に SD カードを入れたときは、使用する記録メディアが［**内蔵メモリ**］なのか［**SD カード**］なのかを間違えないように設定してください（☞ P.112）。
- **A** ～ **E** 以外のフォルダを選んで**録音**（●）ボタンを押すと、［**A ～ E フォルダで録音してください**］が点滅します。改めて **A** ～ **E** のいずれかのフォルダを選んでから録音を開始してください。
- 大事な録音をするときには、事前に記録メディアを初期化することをおすすめします。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.118）。

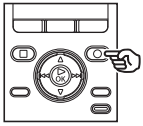
2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 999 件目のファイルが 2GB を超えると、録音が停止します。

録音を一時停止する／再開する

1 録音中に録音（●）ボタンを押す



- 録音が一時停止し、ディスプレイに [❚❚] が点灯します。
- 録音一時停止のまま 120 分以上過ぎると停止状態になります。

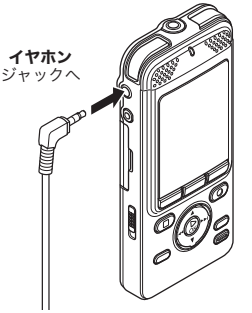
2 一時停止中に録音（●）ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音が再開されます。

録音中の音声を聞くには

イヤホンを本機の**イヤホン**ジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は**+**または**−**ボタンを使用して調節できます。

1 本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する



- 音量を変えても録音レベルは変化しません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。
- 録音モニターの機能を使用すると電池の消耗が早くなります。電池の消耗を抑えるには、録音中はイヤホンを接続しないようにするか、または［**録音モニター**］の設定を［**OFF**］にして録音してください（☞ P.83）。

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

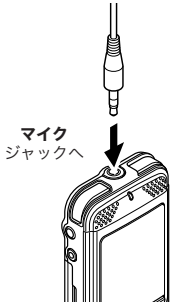
［**録音シーン**］（☞ P.39）	録音する場面や状況に合わせた録音設定に一括で切り替えます。
［**録音レベル**］（☞ P.73）	録音感度を設定します。
［**録音モード**］（☞ P.75）	録音時の音質を設定できます。
［**ズームマイク**］（☞ P.76）	内蔵ステレオマイクの指向性を設定できます。
［**ローカットフィルタ**］（☞ P.77）	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
［**タイマー録音**］（☞ P.78）	録音を予約する日時などの内容を設定できます。
［**フォルダ名**］（☞ P.82）	フォルダ A から E の名前を、あらかじめテンプレートに用意された名前に変更できます。
［**録音モニター**］（☞ P.83）	**イヤホン**ジャックから録音モニター音を出力する・しないを選べます。

外部マイクを使って録音する

外部マイクで録音する

本機のマイクジャックに外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。録音中は本機のジャックに抜き差しをしないでください。

1 本機の**マイク**ジャックに外部マイクを接続する



2 録音を開始する

- 録音に関する操作は「**録音する**」（☞ P.33）をご覧ください。

ご注意

- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- [**録音モード**] の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.75）。
- [**録音モード**] の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみの録音となります（☞ P.75）。

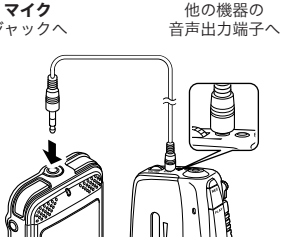
ヒント

- ご使用いただける外部マイクは「**アクセサリー（別売）**」（☞ P.157）をご覧ください。

他の機器と接続して録音する

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

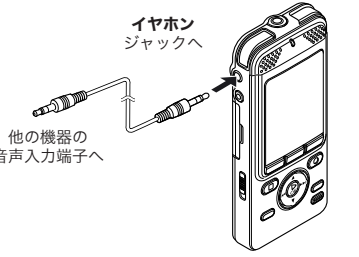


ご注意

- 外部機器を接続する場合、試し録りをして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。



ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します（☞ P.84 ～ P.86）。

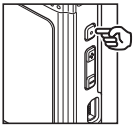
シーンに合わせて録音する［録音シーン］

録音シーンの選びかた

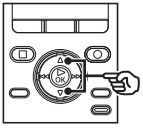
本機には講義や口述など録音するシーンに合わせた最適なテンプレートがあらかじめ登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。

1 停止中に**シーン／ボイス**ボタンを押す



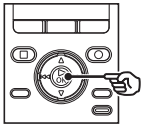
2 ▲ または ▼ ボタンを押して録音シーンを選ぶ



ヒント

- **F3（詳細）**ボタンを押すと選択したテンプレートの設定を確認できます。**F1（戻る）**ボタンを押すと［**録音シーン**］画面に戻ります。

3 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する



録音シーン

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

ご注意

- 録音シーン選択時は、録音に関するメニュー設定の変更ができません。これらの機能をご使用になる場合、［**録音シーン**］の設定を［**OFF**］にしてください。

シーンに合わせて録音する［録音シーン］

録音シーンに登録されている設定内容

［講義］：

［録音レベル］	**［高（講義）］**
［録音モード］	**［MP3 128kbps］**
［ズームマイク］	**［+6］**
［ローカットフィルタ］	**［ON］**

［会議］：

［録音レベル］	**［中（会議）］**
［録音モード］	**［MP3 128kbps］**
［ズームマイク］	**［OFF］**
［ローカットフィルタ］	**［ON］**

［商談］：

［録音レベル］	**［中（会議）］**
［録音モード］	**［MP3 128kbps］**
［ズームマイク］	**［OFF］**
［ローカットフィルタ］	**［OFF］**

［口述］：

［録音レベル］	**［低（メモ）］**
［録音モード］	**［MP3 128kbps］**
［ズームマイク］	**［OFF］**
［ローカットフィルタ］	**［ON］**

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV、MP3、WMA 形式、および DAISY コンテンツ、テキストファイルが再生できます。

基本的な再生のしかた

1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ（☞ P.30）

ヒント

- ファイルは以下の場所に保存されています。

内蔵マイクで録音したファイル：

[レコーダー]
（A 1 ～ E 1 フォルダ）

パソコンから転送された音楽ファイル：

[**ミュージック**]

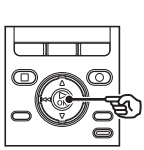
パソコンまたは［DAISY 取り込み］（☞ P.129）で CD-ROM から転送された DAISY コンテンツ：

[**DAISY**]

パソコンから転送されたテキストファイル：

[**テキストスピーチ**]

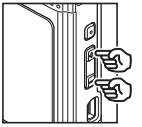
2 ▶**OK** ボタンを押して再生を開始する



ⓐ 記録メディア
ⓑ ファイル名
ⓒ 再生経過時間
ⓓ ファイル長
ⓔ 再生位置バー
ⓕ フォルダ、録音日時

- ディスプレイに [▶] が点灯します。

3 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする



- [**00**] ～ [**30**] の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

4 停止（■）ボタンを押して再生を停止する

- ディスプレイに [■] が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

[声だけ再生] * **(☞ P.84)**	録音した音声ファイルの音声部分だけを再生します。
[ノイズキャンセル] * **(☞ P.85)**	プロジェクターなどのノイズにより音声が聞き取りにくいときに設定してください。
[ボイスバランサー] * **(☞ P.86)**	録音した音声ファイルの音量が小さい部分を補正して再生します。
[再生モード] (☞ P.87)	3 種類の再生モードが選べます。
[スキップ間隔] * **(☞ P.88)**	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。
[文字起こし再生] * **(☞ P.90)**	録音内容を聞きながら文章化する場合に適した再生操作の設定に切り替わります。

* [**レコーダー**] モードのときのみ機能します。

ヒント

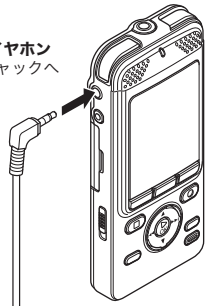
- パソコンから転送した DAISY コンテンツまたはテキストファイルにおける再生に関する設定については、「**ブックメニュー［ブック設定］**」（☞ P.124）をご覧ください。

再生する

イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

1 本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する



2 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

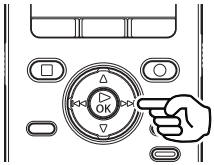
ヒント

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出力されません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［00］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

早送りをするには



DAISY コンテンツおよびテキストファイルの場合は早送りできません。

停止中の早送り

1 停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける

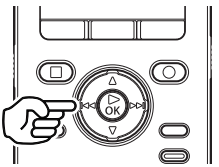
- ディスプレイに［▶▶］が点灯します。
- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。▶**OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早送り

1 再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.52）。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



DAISY コンテンツおよびテキストファイルの場合は早送りできません。

停止中の早戻し

1 停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける

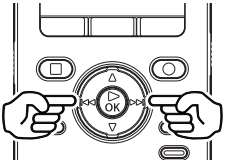
- ディスプレイに [⏮] が点灯します。
- I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。▶**OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早戻し

1 再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

- I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.52）。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには



次のファイルの頭出し

1 停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

1 停止中または再生中に I◀◀ ボタンを押す

1 つ前のファイルの頭出し

1 ファイルの先頭位置で I◀◀ ボタンを押す

- 再生中に 1 つ前のファイルにスキップするときは、2 回連続して I◀◀ ボタンを押してください。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマークやテンプマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います（☞ P.52）。
- [**スキップ間隔**] が [**ファイル スキップ**] 以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません。

再生する

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できないときは、サンプリングレートや、ビット数、ビットレートが再生できる範囲かをご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

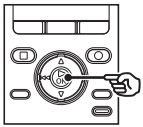
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz、48 kHz	16 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

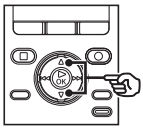
再生スピードを変更する

再生スピードを変更できます。再生スピードは会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。再生スピードの設定は 50%（遅い）～ 100%（通常）～ 600%（速い）まで変更できます。

1 再生中に ▶**OK** ボタンを押す



2 ▲ または ▼ ボタンを押して再生スピードを選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

再生スピード表示

再生スピードを変更する

ヒント

- 再生スピードを変更した再生中でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます。

ご注意

- 電源を切っても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。
- ファイル再生中は［**音声ガイド**］の［**スピード**］（☞ P.108）の設定が無効になります。

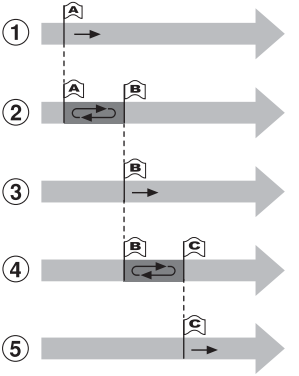
早聞き再生の制限事項について

再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生スピードを落として再生してください。

ABC リピート再生をする

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。従来の A-B リピート機能に加えて、リピート再生中に反復区間を変更できます。

ABC リピート再生について



① 再生中にリピート再生したい部分の起点（A）を決定します。

② 終点（B）を決定するとリピート再生が始まります。

③ リピート再生中に起点（A）を解除すると、終点だった部分（B）が起点に変わり、再生を継続します。

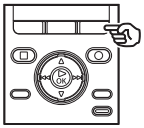
④ 終点（C）を決定すると再びリピート再生が始まります。

⑤ これらの操作を繰り返し、ファイルの終わりまでリピート再生の区間を更新することができます。

ABC リピート再生をする

1 ABC リピートしたいファイルを選び、再生を開始する

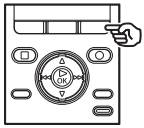
2 ABC リピート再生の開始位置で、**F3（ABC 設定）**ボタンを押す



ヒント

- [A] が点滅中も再生スピードの切り替え（☞ P.45）や、早送り・早戻し（☞ P.43）が行えます。
- [A] が点滅中にファイルの終わりまで到達すると、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 ABC リピート再生の終了位置で、もう一度 **F3（B 設定）**ボタンを押す



- A-B 区間が確定し、ABC リピート再生を開始します。

ABC リピート再生を停止する場合：

手順 6 へ

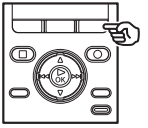
繰り返し位置を更新する場合：

手順 4 へ

ABC リピート再生をする

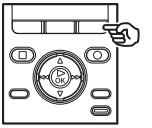
繰り返し位置を更新する

4 ABC リピート再生中に F3（A 解除）ボタンを押す



- A-B 区間が解除されます。[B] が開始位置になり再生を継続します。
- 再生スピードの切り替え（☞ P.45）や早送り・早戻し（☞ P.43）が行えます。

5 ABC リピートの終了位置で F3（C 設定）ボタンを押す

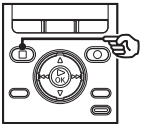


- B-C 区間が確定し、ABC リピート再生を開始します。

ヒント

- 必要に応じて手順 4 と手順 5 を繰り返して、繰り返し区間を変更できます。

6 停止（■）ボタンを押す



- 再生が停止します。ABC リピート再生区間は解除されません。

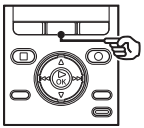
ABC リピート再生をする

ご注意

- ABC リピート再生の開始位置よりも前に繰り返し位置を変更することはできません。
- ABC リピート再生中はインデックスマークやテンプマークの挿入はできません（☞ P.52）。
- DAISY コンテンツおよびテキストファイルの場合は、ABC リピート機能は使用できません。

ABC リピート再生を解除する

1 F2（ABC 解除）ボタンを押す



- ABC リピート再生の停止中に押すと ABC リピート再生区間を解除します。
- ABC リピート再生中に押すと、ABC リピート再生区間を解除し、再生を継続します。

ご注意

- 他のファイルに変更した場合や、ファイル表示画面から他の表示画面に切り替えた場合も ABC リピート再生区間を解除します。

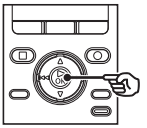
しおり機能について

本機は各ファイルごとに最後に停止した位置を自動的に記憶するしおり機能を搭載しています。

ファイルの途中で停止した位置を記憶する

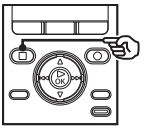
1 フォルダから再生したいファイルを選ぶ

2 **▶OK** ボタンを押して再生を開始する



- ディスプレイに [▶] が点灯します。

3 **停止（■）**ボタンを押して再生を停止する



- 再生していたファイル（A）の途中で停止します。この後、別のファイル（B）を再生したり、他のフォルダに移動したり、本機の電源を切ったりした場合でも、元のファイル（A）の最後に停止した位置を記憶しています。

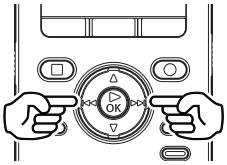
4 **▶OK** ボタンを押して途中まで聞いたコンテンツファイルの続きを再生する

ご注意

- DAISY コンテンツの場合、停止したセンテンスの先頭から再生を再開します。

しおり機能について

ファイルの頭出しをするには



次のファイルの頭出し

1 停止中または再生中に ▶▶| ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

1 停止中または再生中に |◀◀ ボタンを押す

1 つ前のファイルの頭出し

1 ファイルの先頭位置で |◀◀ ボタンを押す

- 再生中に 1 つ前のファイルにスキップするときは、2 回連続して |◀◀ ボタンを押してください。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います（☞ P.52）。
- DAISY コンテンツの場合は、［**ブック設定**］の［**スキップモード**］で設定したスキップ間隔で移動します（☞ P.124）。
- テキストファイルの場合、ファイルの頭出しはできません。
- テキストファイルの場合、文節単位でスキップします。
- ファイルを本機で削除した場合は、しおり情報も同時に削除されます。

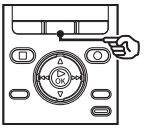
インデックスマーク・テンプマークについて

インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。オリンパス製 IC レコーダーで作成されたファイルにはインデックスマークが付き、オリンパス製以外の機器で作成されたファイルにはテンプマークが付けられます。再生中のファイルに聞きたい位置の一時記憶ができます。

- ［**DAISY**］モードでは、インデックスマークと同じ機能のブックマークが付きます。
- ［**テキストスピーチ**］モードでは、インデックスマークを付けることはできません。

インデックスマーク・テンプマークを付ける

1 インデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、**F2（インデックス）**ボタンを押す



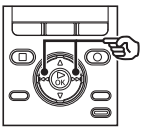
ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- インデックスマーク・テンプマークは 1 つのファイル内に最大で 99 件まで付けることができます。99 件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません（☞ P.94）。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

1 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**消去**ボタンを押す

- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

カレンダー検索機能を使う

カレンダー検索機能を使ってファイルを探す

録音した日付から音声ファイルを検索できます。どのフォルダに録音したのかを忘れてしまった場合でも、日付が分かっていればすぐに探し出せます。

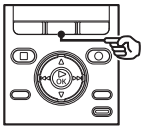
1 **ホーム**ボタンを押して［**ホーム**］画面にする

2 **▲**、**▼** または **▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押して［**レコーダー**］モードを選ぶ

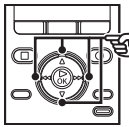
3 **▶OK** ボタンを押す

- ファイル表示画面に移行した場合は、**F1（リスト）**ボタンを数回押してフォルダリスト画面にしてください。

4 **F2（検索切替）**ボタンを押す



5 **▲**、**▼** または **▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押して日付を選ぶ



ⓐ 表示中の年月
ⓑ カーソル
ⓒ 操作している当日の日付
ⓓ 選択している日付に登録されているファイル件数

- ファイルが保存されている日付にはアンダーバーが表示されます。

▲、**▼**、**▶▶I**、**I◀◀** ボタン：
録音ファイルが登録されていない日付はスキップして、次の録音ファイルがある日付に移ります。

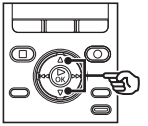
F1、**F3** ボタン：
前月／翌月へ切り替わります。

- **F2（検索切替）**ボタンを押すと設定がキャンセルされ、フォルダリスト画面に戻ります。

カレンダー検索機能を使ってファイルを探す

6 ▶**OK** ボタンを押す

7 ▲ または ▼ ボタンを押して
ファイルを選ぶ



8 ▶**OK** ボタンを押して
再生を開始する

ご注意

- 検索できるファイルは、音声録音用フォルダ（[🅰] ～ [🅴]）の中に保存されているファイルのみです。

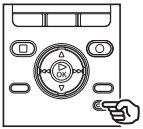
消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

ファイルを消去する

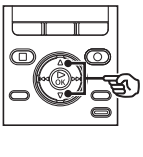
1 消去したいファイルを選ぶ (☞ P.30)

2 ファイル表示画面で停止中に**消去**ボタンを押す



- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

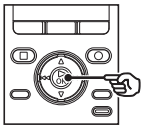
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**フォルダ内消去**］または［**1 件消去**］を選ぶ



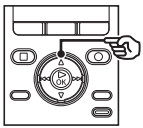
［**フォルダ内消去**］:
選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルを全て消去します。

［**1 件消去**］:
選択したファイルを消去します。

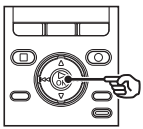
4 ▶**OK** ボタンを押す



5 ▲ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



6 ▶**OK** ボタンを押す



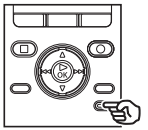
- ディスプレイが［**消去中！**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

消去する

フォルダを消去する

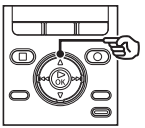
1 消去したいフォルダを選ぶ (☞ P.30)

2 フォルダ表示画面で停止中に **消去**ボタンを押す



- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 ▲ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



4 ►**OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**消去中 !**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

ファイルの一部分を消去する

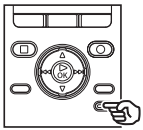
ファイルの不要な部分を消去できます。

> **!** 部分消去できるファイルは本機で録音した PCM 形式のみです。

1 部分消去したいファイルを再生する

- 消去したい位置までファイルを進めます。ファイルが長い場合、►►| ボタンを使って部分消去したい位置まで進めます。

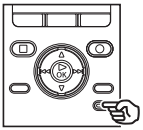
2 部分消去の開始位置で**消去**ボタンを押す



- ［**部分消去**］点滅中も再生は続き、通常の再生中と同じように 早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進めることができます。表示の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが消去終了位置になります。

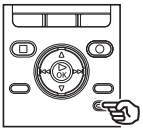
ファイルの一部分を消去する

3 部分消去を終了したい位置でもう一度**消去**ボタンを押す



- ディスプレイに［**消去開始位置**］と［**消去終了位置**］が交互に点滅します。

4 **消去**ボタンを押す



- ディスプレイが［**部分消去中！**］にかわり、消去を開始します。［**部分消去しました**］と表示されたら終了です。
- 部分消去完了位置で再生が停止します。
- 8 秒以内に消去ボタンを押さないと部分消去が解除されて再生状態に戻ります。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ［**テキストスピーチ**］フォルダでは、ファイル転送時に自動生成された txt ファイルを削除すると、元ファイル（html、doc、docx、pdf）も自動的に削除されます。
- SD カードが書き込み禁止に設定されていると、［**SD カードがロックされています**］と表示されます。消去を行う場合は、カードの書込み禁止を解除してください（☞ P.21）。
- 本機に SD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**SD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.112）。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P.94）。
- 本機にあらかじめ搭載されている［**レコーダー**］（［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］）、［**ミュージック**］、［**DAISY**］、［**テキストスピーチ**］の各フォルダは消去できません。
- ［**ミュージック**］フォルダでは、［**ミュージック**］以外のフォルダを消去できます。
- ［**テキストスピーチ**］フォルダでは、［**テキストスピーチ**］以外のフォルダを消去できます。

消去する

ファイルの一部分を消去する

- 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去されません。パソコンに接続して消去してください。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
  ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**SD カード**］の場合、処理中にカードを取り外す。

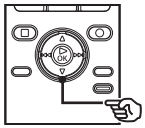
スケジュール画面を表示する

スケジュール画面を操作する

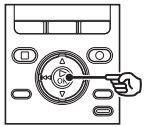
本機は指定した日時に 1 分間の音声を録音できるボイスメモ機能を搭載しています。
指定した日時にボイスメモを再生することでスケジュール管理に使用できます。

1 **ホーム**ボタンを押して［**ホーム**］画面にする

2 ▼ ボタンを押して［**スケジュール**］を選ぶ

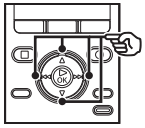


3 **▶OK** ボタンを押す



- メモまたは予約再生が登録されている日付には［ ］マークが表示されます。

4 ▲、▼ または **▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押してカーソルを移動する



ⓐ 表示中の年月
ⓑ 操作している現在の日付
ⓒ カーソル
ⓓ 選択している日付に登録されているメモの件数と予約再生の件数

▶▶I 、**I◀◀** ボタン：
前日／翌日へ移動します。
▲、▼ ボタン：
前週／翌週へ移動します。
F2、**F3** ボタン：
前月／翌月へ切り替わります。

5 **F1 (戻る)** ボタンを押してスケジュール画面を終了する

ボイスメモを登録する

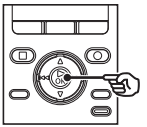
指定した日にボイスメモを録音する

ボイスメモは 1 ファイルにつき最大 1 分間の録音ができます。1 日最大 99 件まで録音でき、合計で 1000 件まで本機に登録できます。

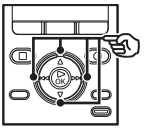
1 **ホーム**ボタンを押して［**ホーム**］画面にする

2 ▼ ボタンを押して［**スケジュール**］を選ぶ

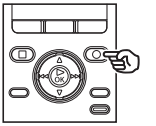
3 ▶**OK** ボタンを押す

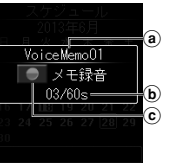


4 ▲、▼ または ▶▶I、I◀◀ ボタンを押してメモを録音したい日付を選ぶ



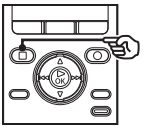
5 **録音（●）**ボタンを押してボイスメモを録音する





ⓐ ファイル番号
ⓑ 録音経過時間 / 録音可能時間
ⓒ 本機の動作状態

6 **停止（■）**ボタンを押して録音を停止する



• カレンダー画面に戻り、登録した日付に［ ］マークがつきます。

ボイスメモを聞く

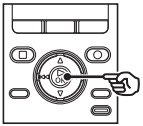
登録したボイスメモを再生する

登録したボイスメモを再生します。

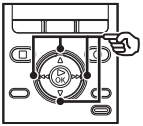
1 **ホーム**ボタンを押して［**ホーム**］画面にする

2 ▼ ボタンを押して［**スケジュール**］を選ぶ

3 **▶OK** ボタンを押す

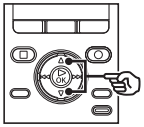


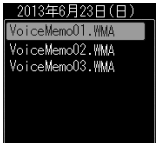
4 ▲、▼ または **▶▶I**、**I◀◀** ボタンを押してメモが登録されている日付を選ぶ



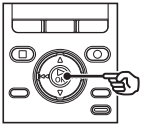
5 **▶OK** ボタンを押す

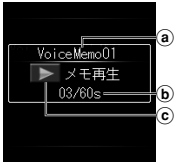
6 ▲ または ▼ ボタンを押して再生するボイスメモを選ぶ





7 **▶OK** ボタンを押してボイスメモを再生する





ⓐ ファイル番号
ⓑ 再生経過時間 / ファイル長
ⓒ 本機の動作状態

8 **＋**または**－**ボタンを押して聞きやすい音量にする

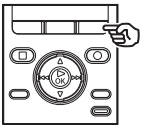
ボイスメモをアラーム再生する

ボイスメモを再生する時刻を設定する

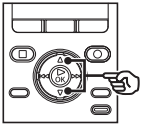
登録したボイスメモは、指定した時刻になるとアラーム機能を併用して再生するよう設定できます。

1 アラーム再生したいボイスメモを選ぶ（☞ P.61）

2 **F3（アラーム）**ボタンを押す



3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



ⓐ **予約のオン・オフ**：
設定内容を実施するまたは実施しないを設定します。

ⓑ **予約実施時間：**
アラーム再生の開始時間を設定します。

オン・オフを設定する：

①▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ。

［**ON**］：設定内容を実施します。
［**OFF**］：設定内容は実施しません。

実施時間を設定する：

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。

①▲ または ▼ ボタンを押して数字を変更する。
②▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。

ボイスメモをアラーム再生する

ボイスメモを再生する時刻を設定する

③手順 ① と ② を繰り返して実施時間を設定する。

4 F3（決定）ボタンを押して設定を完了する

アラーム再生について

設定した時刻になるとアラーム音が鳴ります。アラーム音が鳴っている間に **▶OK** ボタンを押すとあらかじめ設定しておいたボイスメモを再生します。**停止**（■）ボタンを押すと再生を停止します。

ヒント

- アラーム音はボタンが押されないまま 5 分経過すると自動的に止まります。このとき、ボイスメモは再生されません。
- 電源オフやホールドになっていても、［**アラーム設定**］の設定時刻になるとアラームが鳴り出します。ホールド中の場合でも **▶OK** ボタンを押すと、設定したボイスメモの再生が始まります。
- ［**ビープ音**］の音量設定で、アラームの音量も設定されます（☞ P.106）。

ご注意

- アラーム再生を設定した時刻に本機を操作していたり、本機が動作中の場合はアラーム再生は動作しません。
- タイマー録音と開始時刻の設定が同じ場合は、タイマー録音の設定を優先します（☞ P.78）。

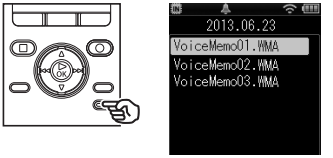
ボイスメモを消去する

ボイスメモを消去する

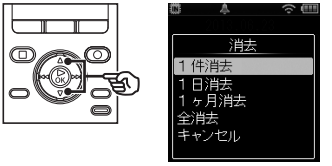
ボイスメモを消去できます。1 件ずつ消去するほかに、まとめて消去することもできます。

1 消去したいボイスメモを選ぶ (☞ P.61)

2 **消去**ボタンを押す

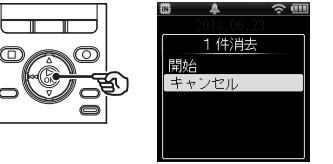


3 ▲ または ▼ ボタンを押して消去モードを選ぶ

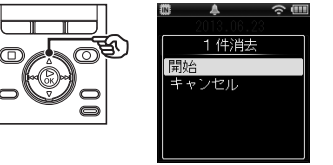


［**1 件消去**］：選択しているボイスメモ 1 件を消去します。
［**1 日消去**］：選択しているボイスメモと同じ日付に登録されているボイスメモを全て消去します。
［**1 ヶ月消去**］：選択しているボイスメモと同じ月に登録されているボイスメモを全て消去します。
［**全消去**］：本機に登録されているボイスメモを全て消去します。

4 ▶**OK** ボタンを押す



5 ▲ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



6 ▶**OK** ボタンを押す

- ［**消去完了**］と表示されたら終了です。

メニューについて

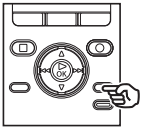
メニュー設定のしかた

基本的な操作のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。

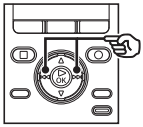
1 録音中、再生中または停止中に**メニュー**ボタンを押す



ヒント

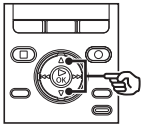
- 停止中に音声認識機能を使ってメニュー画面に入ることができます（☞ P.31）。
- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください（☞ P.72）。

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ



- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

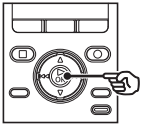
3 ▲ または ▼ ボタンを押して設定項目を選ぶ

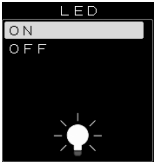


メニュー設定のしかた

基本的な操作のしかた

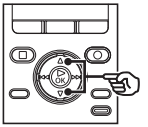
4 ▶OK ボタンを押す

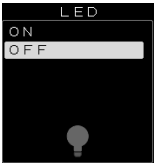




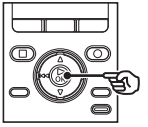
- 選んだ項目の設定に移動します。
- ▶▶I ボタンを押しても操作できます。

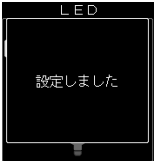
5 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を変更する





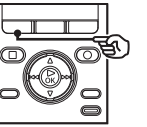
6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する





- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- ▶OK ボタンを押さずに I◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1 つ前の画面に戻ります。

7 F1（戻る）ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、**F1（戻る）**ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

■ 録音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
録音設定 [Rec Menu]	**録音シーン**［Rec Scene］ ☞ P.39	［**講義**］［**会議**］［**商談**］［**口述**］［**OFF**］
	録音レベル［Rec Level］ ☞ P.73	［**高（講義）**］［**中（会議）**］［**低（メモ）**］［**マニュアル**］
	録音モード［Rec Mode］ ☞ P.75	［**PCM 48kHz/16bit**］ ［**PCM 44.1kHz/16bit**］ ［**MP3 256kbps**］ ［**MP3 128kbps**］ ［**WMA 32kbps mono**］ ［**WMA 8kbps mono**］
	ズームマイク［Zoom Mic］ ☞ P.76	［**−3**］～［**OFF**］～［**+6**］
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter］☞ P.77	［**ON**］［**OFF**］
	タイマー録音［Timer Rec］ ☞ P.78	設定された時間になると自動的に録音を開始します。3 件の予約が登録できます。
	フォルダ名［Folder Name］ ☞ P.82	フォルダ（A～E）の名前を変更します。あらかじめ用意されているテンプレートから選択できます。
	録音モニター［Rec Monitor］ ☞ P.83	［**ON**］［**OFF**］

選択肢欄の　　表記は初期設定です

メニューの一覧

■ 再生に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
再生設定 [Play Menu]	**声だけ再生 *1**［Voice Playback］ ☞ P.84	［**ON**］［**OFF**］
	ノイズキャンセル *1 ［Noise Cancel］☞ P.85	［**HIGH**］［**LOW**］［**OFF**］
	ボイスバランサー *1 ［Voice Balancer］☞ P.86	［**ON**］［**OFF**］
	再生モード［Play Mode］ ☞ P.87	［**再生範囲**］： ［**ファイル**］［**フォルダ**］ ［**全ファイル**］ ［**リピート**］： ［**ON**］［**OFF**］
	スキップ間隔 *1［Skip Space］ ☞ P.88	［**スキップ**］： ［**ファイル スキップ**］ ［**10 秒 スキップ**］［**30 秒 スキップ**］ ［**1 分 スキップ**］［**5 分 スキップ**］ ［**逆スキップ**］： ［**ファイル スキップ**］ ［**3 秒 スキップ**］［**5 秒 スキップ**］ ［**10 秒 スキップ**］［**30 秒 スキップ**］ ［**1 分 スキップ**］［**5 分 スキップ**］
	文字起こし再生 *1 ［Transcription Mode］☞ P.90	［**ON**］［**OFF**］

***1**［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
ファイル設定 [File Menu]	**声だけ抽出** *1 [Voice Detect] ☞ P.92	音声ファイルの音声部分のみを抽出できます。 [**ファイル選択**] [**録音と同時に抽出**]
	ファイルロック [File Lock] ☞ P.94	ファイルの誤消去を防ぎます。 [**ON**] [**OFF**]
	並び替え [Sort by] ☞ P.96	フォルダ内のファイルを並べ替えて再生順序を変更できます。 [**名前順**] [**日付昇順**] [**日付降順**]
	ファイル移動／コピー [Move/Copy] ☞ P.97	メモリ間でファイルのコピーと移動が行えます。
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.100	本機で録音したファイル（PCM、MP3）を分割できます。
	プロパティ [Property] ☞ P.101	選んだファイルまたはフォルダの情報を確認できます。 ファイルを選んだ場合： [**名前**] [**日時**] [**サイズ**] [**ビットレート**] [**アーティスト**] [**アルバム**] フォルダを選んだ場合： [**名前**] [**フォルダ数**] *2 [**ファイル数**]
	コンテンツ消去 [Erase app data] ☞ P.103	スマートフォンのアプリケーションで作成されたコンテンツフォルダを削除します。

*1 [**レコーダー**] モードのときのみ機能します。
*2 [**ミュージック**] モードのときのみ表示されます。

メニューの一覧

■ ディスプレイや音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
表示／音設定 [LCD/Sound Menu]	**バックライト** [Backlight] ☞ P.104	[**点灯時間**]： [**5 秒**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**常時点灯**] [**微灯時間**]： [**30 秒**] [**1 分**] [**2 分**] [**5 分**] [**常時点灯**] [**輝度設定**]： [**01**] [**02**] [**03**]
	LED [LED] ☞ P.105	[**ON**] [**OFF**]
	ビープ音 [Beep] ☞ P.106	[**0**] ～ [**3**] ～ [**5**]
	言語選択 (Lang) [Language] ☞ P.107	[**日本語**] [**English**]
	音声ガイド [Voice Guide] ☞ P.108	[**ON/OFF**]： [**ON**] [**OFF**] [**スピード**]： [**50%**] ～ [**100%**] ～ [**400%**] [**音量**]： [**音量 5**] ～ [**音量 3**] ～ [**音量 1**]
	スピーカ出力 [Speaker] ☞ P.110	[**ON**] [**OFF**]

メニューの一覧

■ 本機に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
本体設定 [Device Menu]	**メモリ選択** [Memory Select] ☞ P.112	[**内蔵メモリ**] [**SD カード**]
	スリープ [Power Save] ☞ P.113	[**5 分**] [**10 分**] [**30 分**] [**1 時間**] [**2 時間**] [**3 時間**] [**OFF**]
	時計設定 [Time & Date] ☞ P.114	[**時**] [**分**] [**年**] [**月**] [**日**]
	USB 設定 [USB Settings] ☞ P.116	[**ストレージ**] [**コンポジット**]
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.117	メニュー設定（時計設定を除く）を初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ☞ P.118	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] ☞ P.120	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ☞ P.121	[**モデル**] [**バージョン**] [**シリアル番号**]
	Wi-Fi 設定 [Wi-Fi] ☞ P.121	[**Wi-Fi 接続**] [**パスワード変更**]

■ ブック（テキスト）に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢 / 内容
ブック設定 *1 [Book Menu]	**スキップモード** [Skip Mode] ☞ P.124	[**セクション**]（レベル 1 ～レベル 6） [**グループ**] [**ページ**] [**センテンス**] [**フレーズ**] [**ブックマーク**]
	文字コード [Characters] ☞ P.125	[**ANSI**] [**UTF-8**] [**UTF-16**]
	テキスト言語 [Text Language] ☞ P.126	[**日本語**] [**English**]
	HTML 読み上げ [HTML TTS setting] ☞ P.128	[**本文**] [**全て**]
	DAISY 取り込み [DAISY Import] ☞ P.129	CD ドライブと接続し、DAISY コンテンツを CD-ROM から直接取り込みます。

***1** [**DAISY**] モードまたは [**テキストスピーチ**] モードのときのみ機能します。

メニューの一覧

■ 録音動作中に設定できるメニュー項目：

録音レベル
ズームマイク
ローカットフィルタ
フォルダ名
録音モニター
バックライト
LED

■ 再生動作中に設定できるメニュー項目：

ノイズキャンセル *1
ボイスバランサー *1
再生モード *2
スキップ間隔 *1
プロパティ *2
バックライト
LED

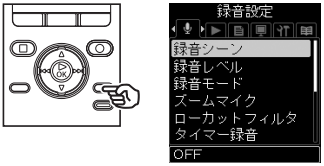
***1**［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。
***2**［**レコーダー**］モードまたは［**ミュージック**］モードのときのみ機能します。

録音メニュー［録音設定］

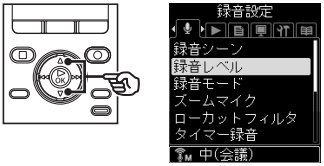
録音感度を選択する［録音レベル］

目的に合わせて録音レベルの感度を切り替えられます。
録音レベルを手動で調整できます。

1 停止中または録音中に
メニューボタンを押す

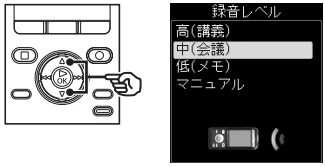


2 ▲ または ▼ ボタンを押して
［**録音レベル**］を選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して
［**高（講義）**］、［**中（会議）**］、
［**低（メモ）**］または
［**マニュアル**］を選ぶ



［**高（講義）**］:
最も録音感度が高く、講義や大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

［**中（会議）**］:
打合せや少人数の会議などの録音に適しています。

［**低（メモ）**］:
最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

［**マニュアル**］:
録音レベルを 30 段階に調整できます。

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

録音感度を選択する［録音レベル］

5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

ヒント

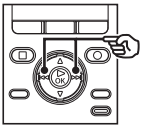
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**録音レベル**］を［**低（メモ）**］に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

ご注意

- ［**録音レベル**］が［**高（講義）**］［**中（会議）**］［**低（メモ）**］の場合、録音レベルは自動的に調整されます。あまりにも大きな音を入力すると、［**録音レベル**］を［**高（講義）**］［**中（会議）**］［**低（メモ）**］に設定していてもノイズが発生することがあります。

録音レベルを調整する

1 録音中または録音一時停止中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する



- 数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

ご注意

- 本機は［**マニュアル**］に設定するとリミッター機能がありません。［**OVER**］が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。［**OVER**］が表示されないよう録音レベルを調整してください。

録音メニュー［録音設定］

録音モードを設定する［録音モード］

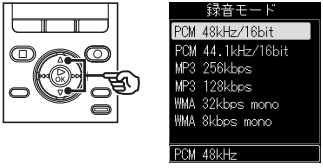
音質や録音時間を重視した録音ができます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**録音モード**］を選ぶ

3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して録音モードを選ぶ



［**PCM 48kHz/16bit**］
［**PCM 44.1kHz/16bit**］
［**MP3 256kbps**］
［**MP3 128kbps**］
［**WMA 32kbps mono**］*
［**WMA 8kbps mono**］*
* モノラル録音になります。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

ヒント

- ［**録音モード**］画面は上から高音質順に並んでいます。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイルサイズが大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**録音モード**］の設定を［**MP3 128kbps**］以上にして録音することをおすすめします。

5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**録音モード**］の設定をステレオ方式にしてモノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

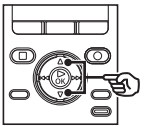
録音メニュー［録音設定］

マイクの指向性を選択する［ズームマイク］

広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵ステレオマイク一つで切り替えが可能です。

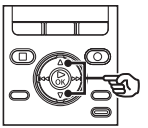
1 停止中または録音中に**メニューボタン**を押す

2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ズームマイク**］を選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して内蔵ステレオマイクの指向性を調整する



- ＋側にすると指向性が高まります。
- －側にすると広がりのあるステレオ感で録音できます。
- 指向性を抑え、収音範囲を広げるとステレオ感のある録音ができます。
- ［**–3**］～［**+6**］の範囲で調整できます。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

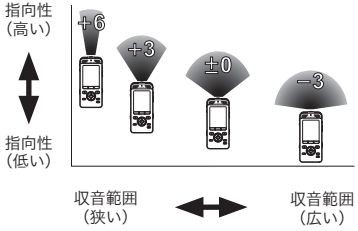
ズームマイク

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

録音メニュー［録音設定］

マイクの指向性を選択する［ズームマイク］

ズームマイク機能について



ご注意

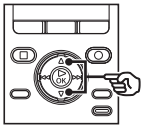
- ［**ズームマイク**］機能は本機の内蔵ステレオマイクで性能が発揮できるように設計されています。市販品のマイクを使った場合や、コネクティングコードを利用して他の機器から録音する場合は正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。
- ［**ズームマイク**］機能を使うときは以下の機能が使用できません。
  - ［**録音と同時に抽出**］(☞ P.92)

ノイズを軽減して録音する［ローカットフィルタ］

エアコンの空調音やプロジェクターなどの低周波音を軽減して録音できます。

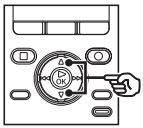
1 停止中または録音中に**メニュー**ボタンを押す

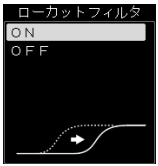
2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ローカットフィルタ**］を選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ





［**ON**］：
ローカットフィルタが機能します。

［**OFF**］：機能しません。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

ノイズを軽減して録音する［ローカットフィルタ］

5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

予約録音を設定する［タイマー録音］

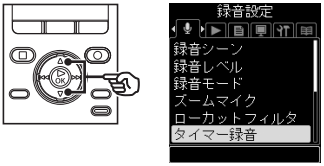
設定された時間になると自動的に録音を開始します。タイマー録音は設定された日時で録音ができるほか、その設定された日時を基準として定期的に録音することもできます。3 件の予約設定が登録できます。

- あらかじめ本機の時計が現在の日時と合っているか確認してください。［**時計設定**］で日時を合わせてください（☞ P.114）。
- 電池残量が十分にあるか確認してください。
- メモリ残量が十分にあるか確認してください。
- タイマー録音は本機に設定されている内容で動作します。［**録音レベル**］など、録音に必要な設定はあらかじめ済ませてください。
- 録音したファイルは自動的に［**フォルダ A**］に保存されます。［**フォルダ A**］の中に 999 件のファイルがあった場合はタイマー録音は行われませんのでご注意ください。
- 予約実施日は現在の日付から 1 年先までの日付が設定できます。
- 設定した時刻から数秒遅れてタイマー録音が始まる場合があります。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

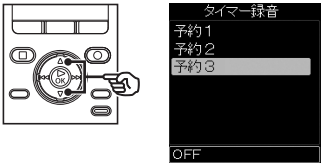
予約録音を設定する［タイマー録音］

2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**タイマー録音**］を選ぶ



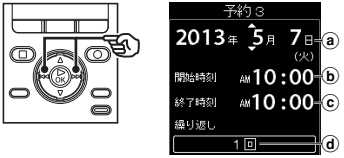
3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して予約番号を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

6 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



ⓐ 予約実施日：
タイマー録音の実施日を設定します。
ⓑ 開始時刻：
タイマー録音の開始時間を設定します。
ⓒ 終了時間：
タイマー録音の終了時間を設定します。
ⓓ 繰り返し：
タイマー録音の繰り返し回数を設定します。

予約実施日を設定する：

①▲ または ▼ ボタンを押して日付を変更する。
②▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。

③手順 ① と ② を繰り返して予約実行日を設定する。

予約録音を設定する［タイマー録音］

開始時間および終了時間を設定する：

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。

①▲ または ▼ ボタンを押して数字を変更する。
②▶▶| または |◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。

③手順 ① と ② を繰り返して時間を設定する。

繰り返し回数を設定する：

①▲ または ▼ ボタンを押して［**1 回**］、［**毎週**］または［**毎日**］を選ぶ。

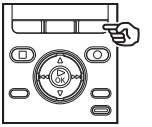
［**1 回**］：
設定した日時に録音を実施して終了します。

［**毎週**］：
設定した日時に録音を実施後、毎週同じ時間に録音動作を繰り返します。

［**毎日**］：
設定した日時に録音を実施後、毎日同じ時間に録音動作を繰り返します。

- **F1（戻る）**ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

7 F3（決定）ボタンを押して設定を完了する



8 F1（戻る）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

予約録音を設定する［タイマー録音］

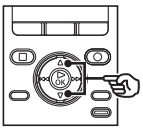
予約録音をオン・オフするには

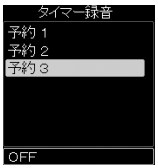
1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**タイマー録音**］を選ぶ

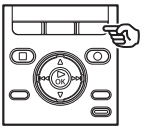
3 ►**OK** ボタンを押す

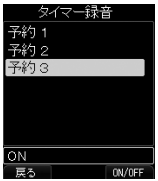
4 ▲ または ▼ ボタンを押してオフにする予約番号を選ぶ





5 **F3（ON/OFF）**ボタンを押す





- **F3（ON/OFF）**ボタンを押すたびに、ON と OFF が切り替わります。

ヒント

- 電源オフやホールドになっていても、［**タイマー録音**］の設定時刻になると録音を始めます。
- ［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
- ［**タイマー録音**］と［**アラーム再生**］（☞ P.62）の［**開始時刻**］が同時刻に設定されているときは、［**タイマー録音**］が優先されます。

ご注意

- あらかじめ［**現在日時**］を確認し、ずれていたら本機の日付と時刻を合わせてください（☞ P.114）。
- ［**タイマー録音**］の開始時刻に本機を操作していたり、本機が動作中のときは、終了後に［**タイマー録音**］を開始します。
- タイマー録音中に電池がなくなると録音が中断しますので、電池残量を確認してください。

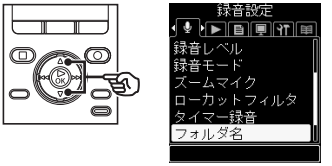
録音メニュー［録音設定］

フォルダの名前を変更する［フォルダ名］

音声録音用の［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］の名前を変更できます。あらかじめ本機に用意されているテンプレートに登録されている名前リスト（［**会議**］［**仕事**］［**出張**］など）から選んで変更します。

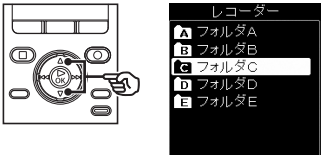
1 停止中または録音中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**フォルダ名**］を選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

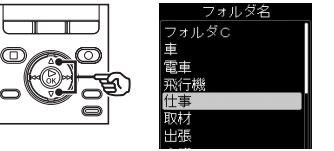
4 ▲ または ▼ ボタンを押して名前を変更したいフォルダを選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

6 ▲ または ▼ ボタンを押して変更したい名前を登録リストから選ぶ

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。



7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

テンプレート一覧

フォルダ A	フォルダ B	フォルダ C	フォルダ D
フォルダ E	車	電車	飛行機
仕事	取材	出張	会議
講演	授業	メモ	記録
電話録音	会話	趣味	レッスン
語学学習	楽器演奏	イベント	

ヒント

- メニューの操作以外に、フォルダリスト表示画面で **F3** ボタンを押しても、フォルダ名が変更できます。

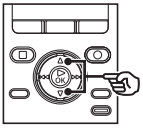
録音メニュー［録音設定］

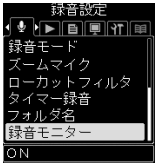
録音モニターを設定する［録音モニター］

録音中の音声を**イヤホン**ジャックから出力する／しないを選べます。

1 停止中または録音中に**メニュー**ボタンを押す

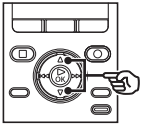
2 ▲ または ▼ ボタンを押して［**録音モニター**］を選ぶ





3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：録音モニターが機能します。**イヤホン**ジャックから音声を出力します。

［**OFF**］：機能しません。**イヤホン**ジャックから音声を出力しません

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします。

再生メニュー［再生設定］

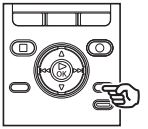
非音声部分をスキップして再生する［声だけ再生］

録音した音声ファイルの音声部分だけを再生できます。

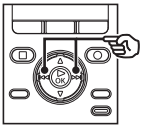
ご確認

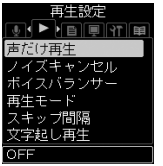
- あらかじめファイルの音声部分を抽出してください（☞ P.92）。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す



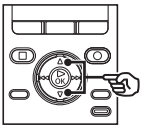
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**再生設定**］タブを選ぶ





3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
ファイルの非音声部分を自動的にスキップして音声部分だけを再生します。

［**OFF**］：
機能しません。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

声だけ再生

ご注意

- ［**声だけ再生**］は［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。

再生メニュー［再生設定］

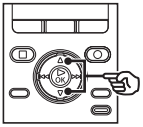
ノイズを軽減して再生する［ノイズキャンセル］

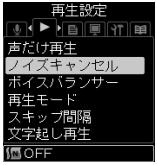
録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**再生設定**］タブを選ぶ

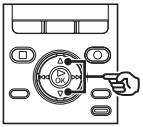
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ノイズキャンセル**］を選ぶ





4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**HIGH**］、［**LOW**］または［**OFF**］を選ぶ



［**HIGH**］［**LOW**］：
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

［**OFF**］：機能しません。

• I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

• 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

ご注意

• ［**ノイズキャンセル**］は［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。

再生メニュー［再生設定］

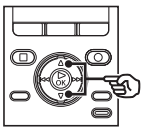
小さい音を補正して再生する［ボイスバランサー］

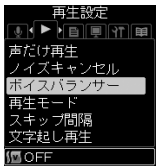
録音した音声ファイルの音量が小さい部分を大きくなるように補正する機能です。
会話などの小さい音を大きく明瞭にします。音声録音用フォルダ（［F1］～［E1］）に保存されているファイルで使用できます。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**再生設定**］タブを選ぶ

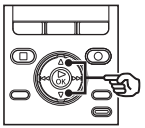
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ボイスバランサー**］を選ぶ





4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
音声ファイルの小さい部分を大きくなるように補正して再生します。

［**OFF**］：
機能しません。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

ご注意

- ［**ボイスバランサー**］は［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。

再生メニュー［再生設定］

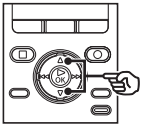
再生モードを選択する［再生モード］

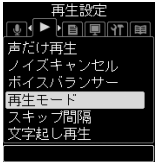
お好みに合わせて再生モードをお選びください。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して［**再生設定**］タブを選ぶ

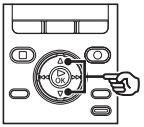
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**再生モード**］を選ぶ

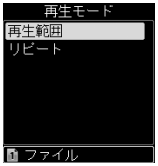




4 ►**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**再生範囲**］または［**リピート**］を選ぶ





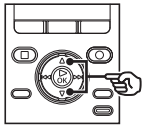
［**再生範囲**］:
ファイル再生の範囲を指定します。

［**リピート**］:
設定された範囲を繰り返して再生します。

- I◄◄ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

6 ►**OK** ボタンを押す

7 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を選ぶ



［再生範囲］を選んだ場合：

［**ファイル**］［**フォルダ**］［**全ファイル**］:
ファイル再生の範囲を指定します。

［リピート］を選んだ場合：

［**ON**］:
再生範囲をリピート再生します。

［**OFF**］:
リピート再生を解除します。

再生メニュー［再生設定］

再生モードを選択する［再生モード］

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

9 F1（戻る）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

ご注意

- ［**再生範囲**］を［**ファイル**］に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**再生範囲**］を［**フォルダ**］に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- ［**再生範囲**］を［**全ファイル**］に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

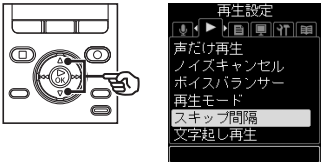
スキップ間隔を設定する［スキップ間隔］

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

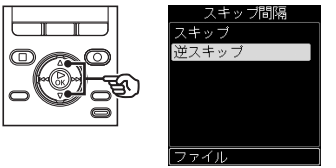
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**再生設定**］タブを選ぶ

3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**スキップ間隔**］を選ぶ



4 ▶OK ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**スキップ**］または［**逆スキップ**］を選ぶ



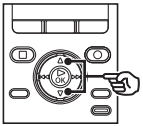
スキップ間隔を設定する［スキップ間隔］

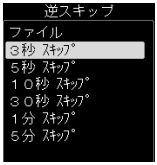
［**スキップ**］：設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

［**逆スキップ**］：設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

6 ▶**OK** ボタンを押す

7 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を選ぶ





［スキップ］を選んだ場合：
［**ファイル スキップ**］
［**10 秒 スキップ**］［**30 秒 スキップ**］
［**1 分 スキップ**］［**5 分 スキップ**］

［逆スキップ］を選んだ場合：
［**ファイル スキップ**］
［**3 秒 スキップ**］［**5 秒 スキップ**］
［**10 秒 スキップ**］［**30 秒 スキップ**］
［**1 分 スキップ**］［**5 分 スキップ**］

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**スキップ間隔**］画面に戻ります。

8 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

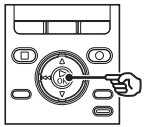
9 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

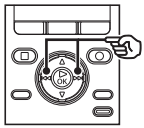
- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。
- ［**スキップ間隔**］は［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 ▶**OK** ボタンを押して再生を開始する



2 再生中に **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押す



- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

再生メニュー［再生設定］

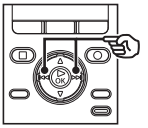
音声を文章化するときの効率を上げる［文字起こし再生］

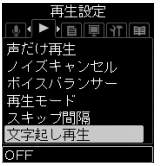
ボタン類の動作が文字起こし用の設定に一括で切り替わります。進む・戻るを繰り返しても、誤ってファイルの先頭や末端になってしまうことがありません。会議やインタビューなどの音声ファイルの内容を文章化して議事録や書面に書き起こすときに便利です。早聞き・遅聞き機能も同時に使用できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**再生設定**］タブを選ぶ

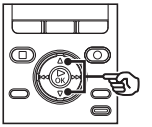
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**文字起こし再生**］を選ぶ





4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
ボタン類の動作が文字起こし用に切り替わります。

［**OFF**］：
ボタン類の動作が通常になります。

［停止ボタン］	［オートバックスペース（3 秒）］
［早送りボタン］	［6 倍速再生］
［早戻しボタン］	［早戻し］
［スキップ］	［10 秒］
［逆スキップ］	［3 秒］
［ボイスバランサー］	［ON］

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

音声を文章化するときの効率を上げる［文字起こし再生］

7 F1（戻る）ボタンを押して メニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイに設定アイコンが表示されます。

ご注意

- ［**文字起こし再生**］は［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。

ファイルメニュー［ファイル設定］

ファイルの音声部分を抽出する［声だけ抽出］

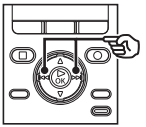
本機で録音した音声ファイルまたは録音中のファイルの音声部分を抽出します。抽出処理されたファイルを再生すると、非音声部分は自動的にスキップされます（☞ P.84）。

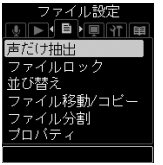
ご確認

- 音声抽出機能は［**レコーダー**］モードのときのみ機能します。
- 保存されているファイルから音声を抽出する場合は、あらかじめ［**レコーダー**］フォルダ内の［**A**］～［**E**］フォルダのいずれかを選んでください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

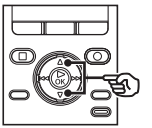
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ





3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタン押して［**ファイル選択**］または［**録音と同時に抽出**］を選ぶ



［**ファイル選択**］：
音声部分を抽出するファイルを選びます。

［**録音と同時に抽出**］：
録音しながら同時に音声部分を抽出します。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

5 ▶**OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る

ファイルの音声部分を抽出する［声だけ抽出］

［ファイル選択］を選んだ場合：

①▲または▼ボタンを押して音声を抽出したいファイルを選ぶ。

②▶**OK** ボタンを押す。

- ［**声だけ抽出処理が完了しました**］と表示されたら終了です。

［録音と同時に抽出］を選んだ場合：

①▲または▼ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ。

［**ON**］：
録音しながら同時に音声部分を抽出します。
［**OFF**］：
通常の録音になります。

②▶**OK** ボタンを押す。

- ［**設定しました**］と表示されたら終了です。

6 F1（戻る）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルリスト表示画面：

声だけ抽出
（抽出済み）

録音時：

声だけ抽出
（［**録音と同時に抽出**］が［**ON**］のとき）

ファイルメニュー［ファイル設定］

ファイルの音声部分を抽出する［声だけ抽出］

ヒント

- 音声部分の抽出が終了すると、［**再生設定**］メニューにある［**声だけ再生**］の設定が［**ON**］に切り替わります（☞ P.84）。

ご注意

- ファイルが保存されていないフォルダを選んでいる場合、［**ファイルがありません**］と表示されます。ファイルが保存されているフォルダを選んでから操作してください。
- 楽器の演奏などを録音したファイルでは、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音時における音声が小さい場合（レベルメーターが －12 dB 以下）や、周囲のノイズによっては、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音した音声ファイルの容量が大きいほど、抽出処理に時間がかかります。処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ充電することをおすすめします。
- ［**録音と同時に抽出**］機能を使うときは以下の機能が使用できません。
  - ［**ズームマイク**］（☞ P.76）

ファイルの誤消去を防止する［ファイルロック］

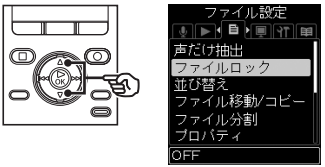
ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P.55）。

1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ（☞ P.30）

2 停止中に**メニュー**ボタンを押す

3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

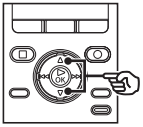
4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ファイルロック**］を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

ファイルの誤消去を防止する［ファイルロック］

6 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
ファイルロックがかかります。

［**OFF**］：
ファイルロックが解除されます。

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル選択**］画面に戻ります。

7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルメニュー［ファイル設定］

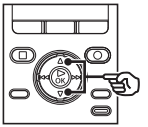
ファイルを並べ替える［並び替え］

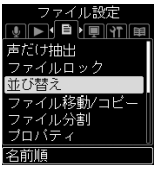
本機に保存されているファイルの再生順番を一括で変更できます。［**レコーダー**］、［**ミュージック**］、［**テキストスピーチ**］の各フォルダ内にある全ファイルが対象になります。並べ替え方法は［**名前順**］、［**日付昇順**］、［**日付降順**］の３通りから選べます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

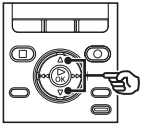
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**並び替え**］を選ぶ





4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**名前順**］、［**日付昇順**］または［**日付降順**］を選ぶ



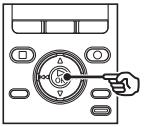
［**名前順**］：
ファイルを自動的に名前順で並べ替えます。

［**日付昇順**］：
ファイルを自動的に更新日時（録音日）の昇順で並べ替えます。

［**日付降順**］：
ファイルを自動的に更新日時（録音日）の降順で並べ替えます。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル選択**］画面に戻ります。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する



- ［**順番を変更しました**］と表示されたら終了です。

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**名前順**］を選んだ場合、ファイル名の文字コードで比較して順番を決定します。

ファイルメニュー［ファイル設定］

ファイルを移動／コピーする［ファイル移動／コピー］

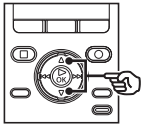
内蔵メモリまたは SD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。また、メモリ間のファイル移動やコピーも可能です。

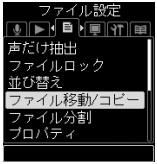
1 あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ (☞ P.30)

2 停止中に**メニュー**ボタンを押す

3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

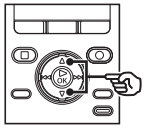
4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ファイル移動／コピー**］を選ぶ

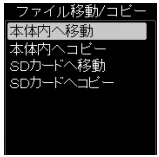




5 ▶**OK** ボタンを押す

6 ▲ または ▼ ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ





［**本体内へ移動**］:
内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。

［**本体内へコピー**］:
内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。

［**SD カードへ移動**］:
内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを SD カード内の別のフォルダへ移動する。

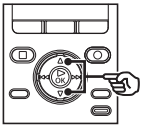
［**SD カードへコピー**］:
内蔵メモリまたは SD カード内のファイルを SD カード内の別のフォルダへコピーする。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル選択**］画面に戻ります。

7 ▶**OK** ボタンを押す

ファイルを移動／コピーする［ファイル移動／コピー］

8 ▲ または ▼ ボタンを押して ファイルの移動または コピー件数を選ぶ

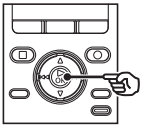


［**1件**］：指定した１件を選びます。

［**選択**］：複数のファイルを選びます。

［**全件**］：フォルダ内のファイルをすべて選びます。

9 ▶**OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る



［1件］を選んだ場合：

①▲ または ▼ ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、▶**OK** ボタンを押す。

［選択］を選んだ場合：

①▲ または ▼ ボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、▶**OK** ボタンを押す。

ヒント

- 選んだファイルを解除する場合は、解除したいファイルを選んでもう一度▶**OK** ボタンを押します。

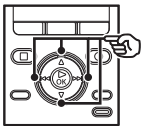
② 手順 ① を繰り返して、移動またはコピーしたいファイルを選んだら、**F3（決定）** ボタンを押す。

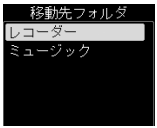
［全件］を選んだ場合：

自動的に現在のフォルダ内の全てのファイルが選択され、［**移動先フォルダ**］画面に移ります。

ファイルを移動／コピーする［ファイル移動／コピー］

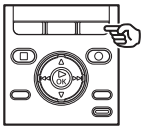
10 **▲、▼ または ▶▶I、I◀◀ ボタンを押してファイルの移動先またはコピー先のフォルダを選ぶ**





- ［**レコーダー**］フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。［**レコーダー**］フォルダ内の A ～ E フォルダのいずれかを選んでください。

11 **F3（決定）ボタンを押す**



- ［**移動しました**］または［**コピーしました**］と表示されたら終了です。

ヒント

- ファイルロック（☞ P.94）をかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ファイル件数が 999 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。
- DRM が施されているファイルの移動またはコピーはできません。

ファイルメニュー［ファイル設定］

ファイルを分割する［ファイル分割］

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。

ご確認

ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式、PCM 形式のみです。

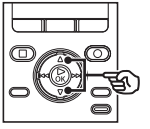
1 ファイルを再生して分割したい位置で停止させる

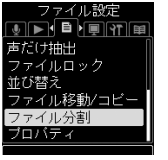
- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくと便利です。

2 停止中に**メニュー**ボタンを押す

3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

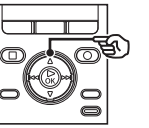
4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ファイル分割**］を選ぶ

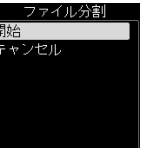




5 ▶**OK** ボタンを押す

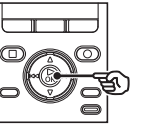
6 ▲ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ





- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

7 ▶**OK** ボタンを押す



- ディスプレイが［**分割中 !**］に変わり、ファイル分割を開始します。
［**分割しました**］と表示されたら終了です。

8 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルメニュー［ファイル設定］

ファイルを分割する［ファイル分割］

ヒント

- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「**ファイル名 _1**」、後半部分のファイルが「**ファイル名 _2**」となります。

ご注意

- ファイル表示画面以外からは［**ファイル分割**］はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 999 件以上の場合、分割できません。
- ファイルロック（☞ P.94）がかかっているファイルは分割できません。
- MP3 や PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルやフォルダの情報を見る［プロパティ］

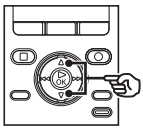
メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

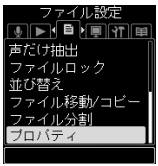
1 情報を表示したいファイルまたはフォルダを選ぶ（☞ P.30）

2 停止中に**メニュー**ボタンを押す

3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**プロパティ**］を選ぶ





5 ▶**OK** ボタンを押す

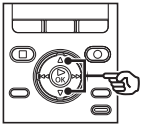
ファイルを選んだ場合：
☞ 手順 6 へ

フォルダを選んだ場合：
☞ 手順 8 へ

ファイルやフォルダの情報を見る［プロパティ］

ファイルの情報

6 ▲ または ▼ ボタンを押して画面を切り替える



ヒント

- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］***1**［**アーティスト**］***2**［**アルバム**］***2** が表示されます。

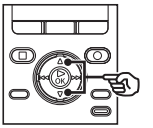
***1** リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部にサンプリングレートやビット数が表示されます。

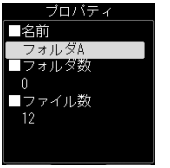
***2** タグ情報がファイルにない場合、［**UNKNOWN_ARTIST**］、［**UNKNOWN_ALBUM**］と表示されます。

7 情報を確認したら ▶**OK** ボタンを押して、手順 10 に進む

フォルダの情報

8 ▲ または ▼ ボタンを押して画面を切り替える





ヒント

- ［**名前**］［**フォルダ数**］［**ファイル数**］が表示されます。
- ［**レコーダー**］モードの場合、［**フォルダ数**］は表示されません。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含まれません。

9 情報を確認したら ▶**OK** ボタンを押して、手順 10 に進む

10 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルメニュー［ファイル設定］

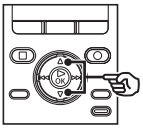
コンテンツフォルダを削除する［コンテンツ消去］

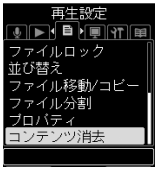
スマートフォンのアプリケーション（☞ P.133）を使用して本機に転送されたコンテンツフォルダを削除します。フォルダ内の全ファイルを含めて削除します。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

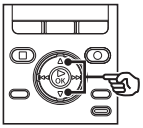
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**コンテンツ消去**］を選ぶ





4 ▶**OK** ボタンを押す

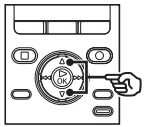
5 ▲ または ▼ ボタンを押して消去したいフォルダを選ぶ



- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

6 ▶**OK** ボタンを押す

7 ▲ または ▼ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



8 ▶**OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**消去中 !**］に変わり、コンテンツ消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

9 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

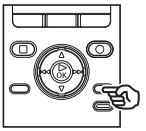
- コンテンツフォルダ内にあるファイルは本機で確認することはできません。

表示／音メニュー［表示／音設定］

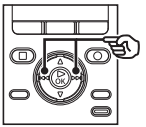
バックライトを設定する［バックライト］

ボタンの操作を行うとディスプレイのバックライトが設定した時間だけ点灯します。

1 録音中、再生中または停止中に**メニュー**ボタンを押す

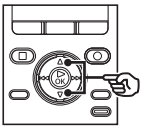


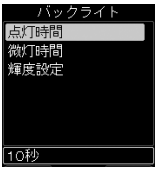
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**表示／音設定**］タブを選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**点灯時間**］［**微灯時間**］または［**輝度設定**］を選ぶ





［**点灯時間**］:
バックライト照明の点灯後から画面表示がうす暗くなるまでの時間を設定します。

［**微灯時間**］:
画面表示がうす暗くなってから消灯するまでの時間を設定します。

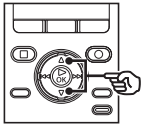
［**輝度設定**］:
バックライト照明の明るさを設定します。

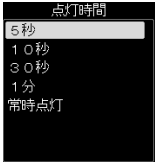
- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 ▶**OK** ボタンを押す

バックライトを設定する［バックライト］

6 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を選ぶ





［点灯時間］を選んだ場合：
［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］
［**常時点灯**］

［微灯時間］を選んだ場合：
［**30 秒**］［**1 分**］［**2 分**］［**5 分**］
［**常時点灯**］

［輝度設定］を選んだ場合：
［**01**］［**02**］［**03**］

7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

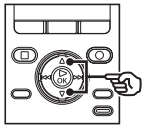
LED 表示ランプを設定する［LED］

LED 表示ランプが点灯しないように設定できます。

1 録音中、再生中または停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して［**表示／音設定**］タブを選ぶ

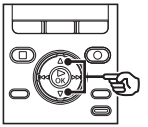
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**LED**］を選ぶ

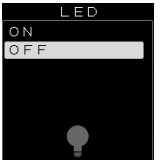


4 **▶OK** ボタンを押す

LED 表示ランプを設定する［LED］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を変更する





［**ON**］：
LED 表示ランプが点灯します。

［**OFF**］：
LED 表示ランプは点灯しません。

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

6 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

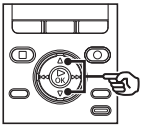
ビープ音を設定する［ビープ音］

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して［**表示／音設定**］タブを選ぶ

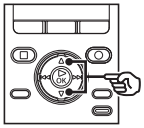
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ビープ音**］を選ぶ



4 **▶OK** ボタンを押す

ビープ音を設定する［ビープ音］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を変更する



- ［**5**］～［**0**］の中から選択します。
- 数値が大きいほど音量が大きくなります。
- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

6 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 電源をオン／オフ（☞ P.16、P.24）する際の起動音／終了音は、［**ビープ音**］の設定音量で出力されます。

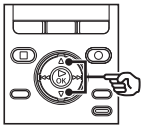
表示言語を切り替える［言語選択 (Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して［**表示／音設定**］タブを選ぶ

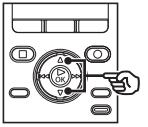
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**言語選択（Lang）**］を選ぶ



4 **▶OK** ボタンを押す

表示言語を切り替える［言語選択 (Lang)］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して設定を変更する



- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語は変わりません。

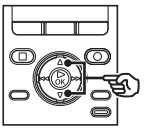
音声ガイドを設定する［音声ガイド］

本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。アナウンスのオン・オフ、スピードおよび音量が設定できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**表示／音設定**］タブを選ぶ

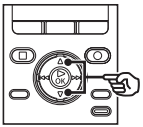
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**音声ガイド**］を選ぶ

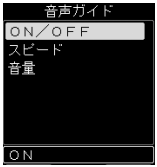


4 ▶**OK** ボタンを押す

音声ガイドを設定する［音声ガイド］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON/OFF**］［**スピード**］または［**音量**］を選ぶ





［**ON/OFF**］：
音声ガイドのオン・オフを切り替えます。

［**スピード**］：
音声ガイドのスピードを設定します。

［**音量**］：
音声ガイドの音量を設定します。

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

6 ▶**OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る

［**ON/OFF**］を選んだ場合：

①▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ。

［**ON**］：音声ガイドが機能します。
［**OFF**］：音声ガイドは機能しません。
②▶**OK** ボタンを押して決定する。

［スピード］を選んだ場合：

①▲ または ▼ ボタンを押して音声スピードを選ぶ。

［**50%**］～［**200%**］は 10 ステップ刻みになります。
［**200%**］～［**400%**］は 20 ステップ刻みになります。

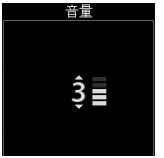
- 数値が大きいほど速くなります。通常の再生は 100% となります。

②▶**OK** ボタンを押して決定する。

音声ガイドを設定する［音声ガイド］

［音量］を選んだ場合：

①▲または▼ボタンを押して音声スピードを選ぶ。



- ［**5**］～［**0**］の中から選択します。
- 数値が大きいほど音量が大きくなります。

②▶**OK** ボタンを押して決定する。

7 F1（戻る）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ファイル再生中は、［**音声ガイド**］の［**スピード**］設定が無効になります。

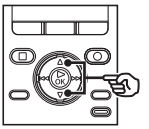
スピーカ出力を選択する［スピーカ出力］

イヤホンを接続していないときの内蔵スピーカのオン、オフを設定できます。［**OFF**］に設定すると誤ってイヤホンが本機から外れてもスピーカから音が出ません。バスや電車の中で安心です。

1 停止中に［メニュー］ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［表示／音設定］タブを選ぶ

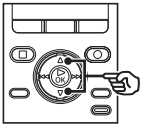
3 ▲または▼ボタンを押して［スピーカ出力］を選ぶ



4 ▶OK ボタンを押す

スピーカ出力を選択する［スピーカ出力］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
イヤホン接続中はイヤホンから音が出力され、イヤホンを取り外すと内蔵スピーカから音が出力されます。

［**OFF**］：
イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからは音が出力されません。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

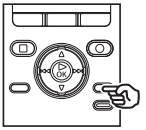
スピーカ出力停止表示（［**スピーカ出力**］を［**OFF**］に設定すると表示されます）。

本体メニュー［本体設定］

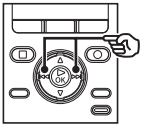
記録メディアを選択する［メモリ選択］

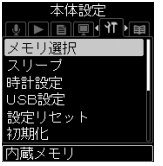
SD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか SD カードに記録するか選べます（☞ P.20）。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す



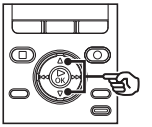
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ





3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押して記録メディアを選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

記録メディアー

本体メニュー［本体設定］

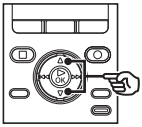
省電力モードを設定する［スリープ］

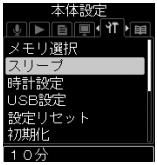
電源を入れて停止状態のまま設定した時間を経過すると、自動的に電源が切れます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

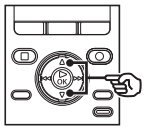
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**スリープ**］を選ぶ





4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して時間を設定する



［**5分**］［**10 分**］［**30 分**］［**1 時間**］［**2 時間**］［**3 時間**］：

お好みの時間を設定してください。

［**OFF**］：

省電力モードは働きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

本体メニュー［本体設定］

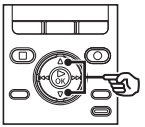
日付・時刻を合わせる［時計設定］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻を合わせてください。
現在日時が合っていない場合、以下の手順で設定してください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

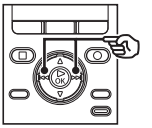
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**時計設定**］を選ぶ



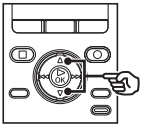
4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

この設定では音声認識機能が使えます（☞ P.31）。



6 ▲ または ▼ ボタンを押して数字を変更する



- 他の項目を変更する場合は、▶▶I または I◀◀ ボタンで点滅を移動し、▲ または ▼ ボタンで数字を変更します。

日付・時刻を合わせる［時計設定］

7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 時、分の設定中、**F3** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 38 分の場合

PM 10 時 38 分（初期値） ⟷ 22 時 38 分

- 年、月、日の設定中、**F3** ボタンを押すたびに表示の順序が切り替わります。

例：2013 年 3 月 24 日の場合

2013 年 3 月 24 日（初期値）
↓
3 月 24 日 2013 年
↓
24 日 3 月 2013 年

ご注意

- 長時間未使用でも電池が消耗すると、再び時計設定が必要になります。

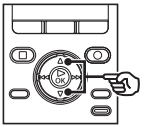
USB 接続を設定する［USB 設定］

本機とパソコンを接続するときに、本機を USB 機器として用途に合わせて切り替えできます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

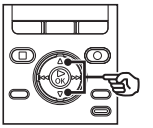
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

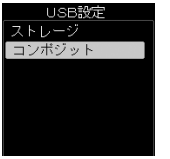
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**USB 設定**］を選ぶ



4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**ストレージ**］または［**コンポジット**］を選ぶ





［**ストレージ**］：
パソコン側から外部記憶装置として認識されます。

［**コンポジット**］：
パソコンと接続したときに本機を、外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして使うときに選びます。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

本体メニュー［本体設定］

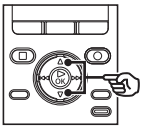
設定をリセットする［設定リセット］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号、フォルダ名についてはそのまま保持します。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

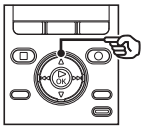
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**設定リセット**］を選ぶ



4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 設定リセット後の初期値は、［**メニューの一覧**］をご覧ください（☞ P.67 ～ P.71）。

本体メニュー［本体設定］

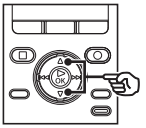
記録メディアを初期化する［初期化］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

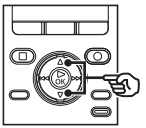
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**初期化**］を選ぶ



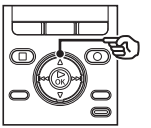
4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ

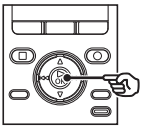


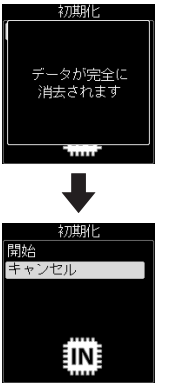
6 ▶**OK** ボタンを押す

7 ▲ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



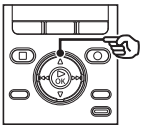
8 ▶**OK** ボタンを押す



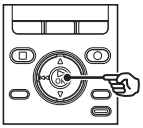


記録メディアを初期化する［初期化］

9 ▲ ボタンを押してもう一度［**開始**］を選ぶ



10 ▶**OK** ボタンを押す



- ［**初期化中**］が表示され、初期化が開始されます。
- ［**初期化完了**］が表示されたら初期化終了です。

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を行ってください（☞ P.117）。

ご注意

- 本機をパソコンから 初期化することは絶対にしないでください。

- 初期化 をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- SD カードが書き込み禁止に設定されていると、［**SD カードがロックされています**］と表示されます。初期化を行う場合は、カードの書込み禁止を解除してください（☞ P.21）。
- 本機に SD カードを入れた場合、初期化する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**SD カード**］のどちらなのかを間違えないよう、必ず確認してください（☞ P.112）。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、または新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
  ① 初期化中に USB 接続 AC アダプタを取り外す。
  ② 初期化中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**SD カード**］の場合、初期化中に SD カードを取り外す。
- 初期化や消去（☞ P.55）を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや SD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化した後、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

本体メニュー［本体設定］

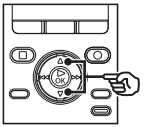
記録メディアの情報を確認する［メモリ情報］

メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

3 **▲** または **▼** ボタンを押して［**メモリ情報**］を選ぶ



4 **▶OK** ボタンを押す

- 記録メディアの情報を表示します。

5 情報を確認したら、**▶OK** ボタンを押して［**メモリ情報**］画面から出る

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本体メニュー［本体設定］

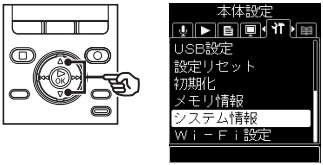
本機の情報を確認する［システム情報］

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**システム情報**］を選ぶ



4 ▶**OK** ボタンを押す

- 本機のシステム情報（［**モデル**］［**システムバージョン**］［**シリアルナンバー**］）を表示します。

5 情報を確認したら、▶**OK** ボタンを押して［**システム情報**］画面から出る

6 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

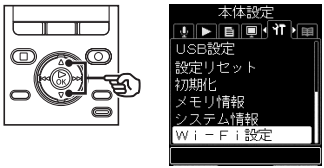
Wi-Fi 設定の情報を表示する［Wi-Fi 設定］

本機への Wi-Fi 接続に関する情報を表示します。Wi-Fi については、「**Wi-Fi 機能をご使用になる前に**」（☞ P.131）をご覧ください。本機はアクセスポイントとしてのみご使用になれます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

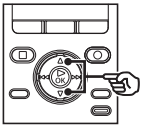
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**Wi-Fi 設定**］を選ぶ



4 ▶**OK** ボタンを押す

Wi-Fi 設定の情報を表示する［Wi-Fi 設定］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して［**Wi-Fi 接続**］または［**パスワード変更**］を選ぶ



［**Wi-Fi 接続**］：
スマートフォンを使って本機に Wi-Fi 接続するために必要な SSID（ネットワーク名）およびパスワードを表示します。同時に表示中の SSID とパスワードから生成された QR コードも表示します。QR コードを使って設定する場合は、あらかじめ専用アプリケーションをインストールする必要があります。

［**パスワード変更**］：
パスワードを変更したいときに選びます。実行するたびに違うパスワードを自動的に生成します。
セキュリティ保護のため、定期的に変更することをおすすめします。
［**設定リセット**］（☞ P.117）を実行すると、パスワードはデフォルトに戻ります。パスワードのデフォルトを確認するには［**設定リセット**］実行後に［**Wi-Fi 接続**］機能を使って確認してください。

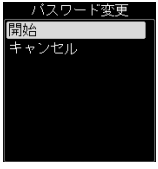
6 ▶**OK** ボタンを押してそれぞれの設定に移る

［**Wi-Fi 接続**］を選んだ場合：

ⓐ QR コード
ⓑ SSID
ⓒ パスワード
- 画面に QR コードと SSID およびパスワードを表示します。

［**パスワード変更**］を選んだ場合：

①▲ または ▼ ボタンを押して［**開始**］を選ぶ。



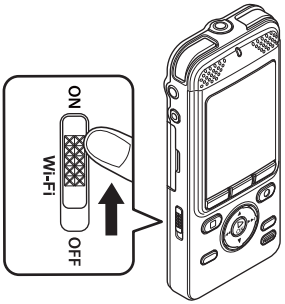
②▶**OK** ボタンを押す。
- ［**パスワードを変更しました**］と表示されたら終了です。

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

Wi-Fi 設定の情報を表示する［Wi-Fi 設定］

本機に接続する機器を設定する

1 本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを ON にする



2 本機を操作して SSID とパスワードを画面に表示する

3 接続する機器の設定を変更する

スマートフォンを設定する場合：
［**Wi-Fi 接続**］機能を使って表示された QR* コードもしくは、SSID およびパスワードを使って設定してください。詳しくはお使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

* QR コードを使って設定するには、専用アプリケーションのインストールが必要です。

ヒント

- スマートフォンでは専用のアプリケーションを用意しています。あらかじめ専用アプリケーションをインストールしておくと、QR コードを使って簡単に設定できます（☞ P.133）。

ご注意

- **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを ON にしている間は、［**スリープ**］機能が無効になります。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。
- **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを ON にしている間は、［**パスワード変更**］は設定できません。［**パスワード変更**］を設定するには **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを OFF にしてください。
- Wi-Fi 接続中は電池を消耗します。データ転送中に電池が切れるとデータが破損する場合があります。Wi-Fi 接続中は付属の AC アダプタのご使用をおすすめします。
- 録音中は **Wi-Fi ON/OFF** スイッチの操作が無効になります。スイッチの操作は停止中に行ってください。

ブックメニュー［ブック設定］

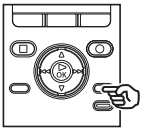
階層単位でスキップする［スキップモード］

DAISY コンテンツは、章、節、項、ページなどの単位によって区切られており、ある場所から次の場所へとすばやく移動できます。移動可能な単位は、章、節、項、ページ以外にもグループやセンテンス、フレーズ、ブックマークがあります。
コンテンツファイルの再生のしかたに合わせてお好みのスキップモードを設定できます。

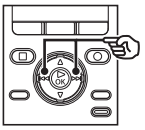
音声認識機能を使って、対象ページにスキップできます（☞ P.31）。

- ［**DAISY**］モードで停止中に、ページ番号を「○○ページ」のように発声すると、対象ページへスキップします。
- 音声認識機能は 300 ページまで対応しています。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

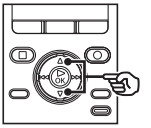


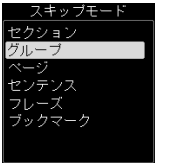
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ブック設定**］タブを選ぶ



3 ▶**OK** ボタンを押す

4 ▲ または ▼ ボタンを押してスキップモードを選ぶ





［**セクション**］：DAISY コンテンツの章、節、項などを意味します。
例：［**レベル1**］が章、［**レベル2**］が節、［**レベル3**］が項に相当します。

［**グループ**］：セクション内の一部分をグループと呼びます。グループは図表説明の先頭・最後などに設定されている場合があります。

［**ページ**］：本のページに相当します。

［**センテンス**］：文章を音読すると文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。この間から次の間までのひと区切りの音声を「センテンス」と呼びます。

［**フレーズ**］：語句、慣用句などに相当します。

［**ブックマーク**］：インデックスマーク（ブックマーク）の付いている場所を示します。

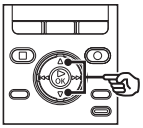
ブックメニュー［ブック設定］

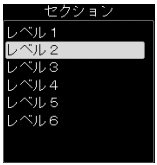
階層単位でスキップする［スキップモード］

［**セクション**］を選んだ場合：
☞ 手順 5 へ
［**セクション**］以外を選んだ場合：
☞ 手順 7 へ

5 **▶OK** ボタンを押す

6 **▲** または **▼** ボタンを押して［**セクション**］のレベルを選ぶ





7 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- DAISY コンテンツによっては区切られる単位に該当する場所がない場合があります。

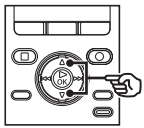
表示する文字コードを切り替える［文字コード］

本機の［**テキストスピーチ**］フォルダ内に転送したテキストファイルの文字が正しく表示されない場合に、表示文字の設定を変更できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して［**ブック設定**］タブを選ぶ

3 **▲** または **▼** ボタンを押して［**文字コード**］を選ぶ

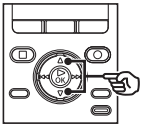


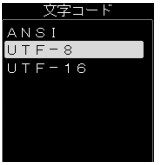
4 **▶OK** ボタンを押す

ブックメニュー［ブック設定］

表示する文字コードを切り替える［文字コード］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して文字コードを選ぶ





［**ANSI**］［**UTF-8**］［**UTF-16**］：
表示するテキストに合わせて設定してください。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

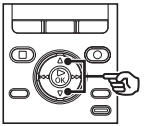
読み上げる言語を切り替える［テキスト言語］

本機の［**テキストスピーチ**］フォルダ内に転送したテキストファイルを読み上げる時の言語を選択できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ブック設定**］タブを選ぶ

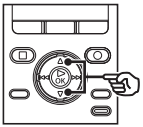
3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**テキスト言語**］を選ぶ



4 ▶**OK** ボタンを押す

読み上げる言語を切り替える［テキスト言語］

5 ▲ または ▼ ボタンを押して使用する言語を選ぶ



［**日本語**］［**English**］：
必要に応じて切り替えてください。

6 **▶OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**音声ガイド**］（☞ P.108）の設定が［**ON**］の場合、［**テキスト言語**］は［**言語選択（Lang）**］（☞ P.107）と同じ設定内容で固定されます。
- ［**音声ガイド**］（☞ P.108）の設定が［**ON**］の場合、［**テキスト言語**］の切り替えはできません。
［**音声ガイド**］の設定を［**OFF**］にしてから［**テキスト言語**］の設定を行ってください。
- 本機で再生できるファイル形式は「txt」「html」「doc」「docx」「pdf」です。
- 人名・地名・団体名などの固有名詞、および記号・略語・英語等は、文字を正しく読み上げない場合があります。
- 本機は、ANSI、UTF-8、UTF-16 以外の文字コードのファイルは対応していません。

ブックメニュー［ブック設定］

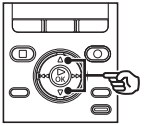
読み上げる範囲を設定する［HTML 読み上げ］

HTML ファイルにおいて、読み上げる箇所を絞りこむことができます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

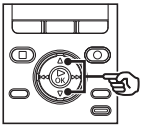
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［**ブック設定**］タブを選ぶ

3 ▲ または ▼ ボタンを押して［**HTML 読み上げ**］を選ぶ



4 ▶**OK** ボタンを押す

5 ▲ または ▼ ボタンを押して読み上げる範囲を選ぶ



［**本文**］：
テキストの主要な部分を読み上げます。ファイルリスト画面には「**_main.txt**」の名前が付いたファイルが表示されます。

［**全て**］：
読み上げ可能な部分を全て読み上げます。ファイルリスト画面には「**_all.txt**」の名前が付いたファイルが表示されます。

6 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ファイルによっては部分的に読み上げできない場合があります。

ブックメニュー［ブック設定］

DAISY コンテンツを取り込む［DAISY 取り込み］

本機は USB 端子を内蔵しているＣＤドライブと接続し、DAISY コンテンツを CD-ROM から直接取り込めます。

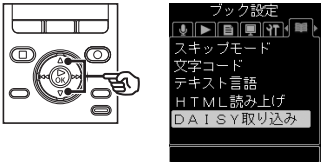
ご確認

- 本機と CD ドライブを接続してください。
- 付属の USB 変換アダプタは必要に応じてお使いください。
- CD ドライブに CD-ROM をセットしてください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

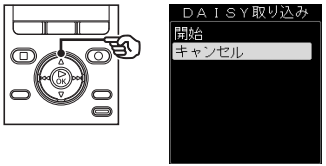
2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して［**ブック設定**］タブを選ぶ

3 **▲** または **▼** ボタンを押して［**DAISY 取り込み**］を選ぶ



4 **▶OK** ボタンを押す

5 **▲** ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



6 **▶OK** ボタンを押す

- ディスプレイが［**取り込み中！**］に変わり、取り込みを開始します。
- ［**完了**］と表示されたら終了です。

7 **F1（戻る）**ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 取り込んだ DAISY コンテンツは［**DAISY**］フォルダ内に保存されます。
- 本機は DAISY 2.0/2.02 規格 のコンテンツに対応しています。

DAISY コンテンツを取り込む［DAISY 取り込み］

ご注意

- 取り込み動作を安定させるために外付け CD/DVD ドライブは AC 電源で動作させてください。
- 処理が完了するまで数分かかる場合があります。処理中に電池が切れることのないように、操作の前にあらかじめ電池残量を確認してください。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
  ① 処理中に USB ケーブルを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**SD カード**］の場合、処理中に SD カードを取り外す。
  ④ 処理中に外付け CD/DVD ドライブの電源を切る。
  ⑤ 処理中に CD-ROM を取り外す。

Wi-Fi 機能について

Wi-Fi 機能をご使用になる前に

本機は Wi-Fi 機能を搭載しています。「Wi-Fi」とは無線 LAN 機器が相互に接続できることを認証する「Wi-Fi Alliance」という団体によって認定された機器のことをさします。本書では、無線 LAN 機能をまとめて“Wi-Fi”と記載しています。

電波を利用してスマートフォンから本機に接続できます。無線なので電波の届く範囲であれば自由に接続が可能になります。電波はある範囲内であれば障害物 (木材・ガラス等) を通過して届くので、本機が隣の部屋などに置いてある場合でも、接続が可能になります。

スマートフォンでは専用のアプリケーションを使用すると、本機で録音したファイルが再生できるほか、電波の届く範囲であれば離れた場所からでも本機を操作することができます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

Wi-Fi 機能でできること

- スマートフォンを使って本機を操作できる
- 音声と画像が同期したコンテンツファイルを作成できる

上記機能を使用するには、スマートフォン専用アプリケーションのインストールが必要です（☞ P.133）。

レコーダー

スマートフォン

ご注意

- 本機は、日本の電波法に準拠し認証を受けた製品であり、日本以外ではご使用になれませんのでご注意ください。本機の無線機能を海外で使用するとご使用になる国の電波法に違反するおそれがあります。海外でのご使用については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Wi-Fi 接続の間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。
- 病院や飛行機の中など使用を禁止される場所では、本機の Wi-Fi 機能を使用しないでください。
- 電子レンジやコードレス電話等、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器の近くで、それらの機器と本機を同時にご使用された場合、通信が途切れたり、通信速度が低下するなど、通信性能に影響を及ぼす場合があります。そのような機器から十分離してご使用ください。

- 近くに複数の Wi-Fi アクセスポイントが存在し同じチャンネルを使用していると本機を正しく検出できない場合があります。
- 携帯電話、テレビ、ラジオなどを、本機の近くではできるだけ使用しないでください。
  - 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオなどは、本機が使用する電波とは異なる周波数帯を使用していますが本機を含む Wi-Fi 製品が発する電磁波の影響で、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- Wi-Fi 機能の使用中は電池の消耗が早くなります。データ転送中に電池が切れるとデータが破損する場合があります。Wi-Fi 接続中は付属の AC アダプタのご使用をおすすめします。

Wi-Fi 製品のご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- Wi-Fi 接続では、有線（ケーブル）を使わずに、スマートフォンと本機の間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能になります。しかし、電波はある範囲内であれば障害物 (木材･ガラス等) を通過して届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し通信内容を盗み見られる。
  - 不正に侵入され個人情報などの情報が漏えいする。
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信される。
  - コンピュータウィルスなどを流されてデータやシステムを破壊する。

本機の［**Wi-Fi 設定**］機能でパスワードを定期的に変更することをおすすめします（☞ P.121）。

- Wi-Fi 接続の仕様上やむを得ない事情により、問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

ヒント

SSID (Service Set Identifier)：SSID とは、Wi-Fi 接続するために必要な ID（ネットワーク名）です。

アクセスポイント（Wireless LAN access point）：無線 LAN でクライアントをネットワークに接続するために電波を受ける装置。または機器を無線の送受信機能のみで使用する場合の名称。

Wi-Fi 機能をご使用になる前に

OLYMPUS Audio Controller について

スマートフォン用アプリケーション「OLYMPUS Audio Controller」は、お使いのスマートフォンで離れた場所から本機を操作する際に必要なアプリケーションです。

アプリケーションを入手するには

対応 OS（2014. 3 現在）

- Android™ 用：Android 2.3.3 ～ 4.2
- iOS 用：iOS 5.0 ～ iOS 7.0

下記の方法で入手できます。

1 スマートフォンでネットワークに接続する

2 アプリケーションを検索する

Android™ の場合：
「**Google Play™（旧名称 Android マーケット™）**」を使って「**OLYMPUS Audio Controller**」と入力して検索する

iOS™ の場合：
「**App Store℠**」を使って「**OLYMPUS Audio Controller**」と入力して検索する

3 「**OLYMPUS Audio Controller**」を選び、ダウンロードおよびインストールする

- スマートフォンのメニューに［ ］アイコンが追加されます。

アプリケーションでできること

お使いのスマートフォンにアプリケーションをインストールすると以下のことができます。

QR コードを使って SSID とパスワードが設定できます：

本機の［**Wi-Fi 設定**］で QR コードを表示します（☞ P.121）。スマートフォンにインストールした OLYMPUS Audio Controller を使って QR コードを読み取ると、自動的に SSID とパスワードが入力されます。

スマートフォンで本機を操作できます：

Wi-Fi 機能を使用して離れたところからでも本機を操作（録音・再生）できます。

音声と画像が同期したコンテンツファイルを作成できます：

音声ファイルの経過時間に合わせて、撮影した画像を自動的に表示するコンテンツファイルを作成できます。

ヒント

- 作成したコンテンツファイルは、作成ごとに 1 つのフォルダにまとめられ本機に転送されます。
- 作成したコンテンツファイルはスマートフォンのアプリケーションでのみ再生できます。
- 不要なコンテンツフォルダは本機の操作で削除できます（☞ P.103）。

Wi-Fi 機能をご使用になる前に

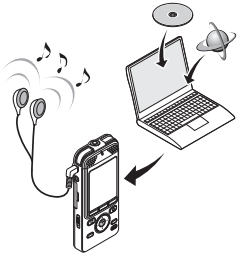
ご注意

- アプリケーションについては、当社ホームページをご覧ください。
- 3G 等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- Olympus Sonority を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理できます。Olympus Sonority Plus へのアップグレード（有償）および音楽編集プラグインの追加（有償）を行えば、より多彩な機能をご利用いただけます（☞ P.147）。
- パソコンに取り込んだ WMA・MP3・WAV 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます。
- 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご活用いただけます（☞ P.150）。



パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）：

Microsoft® Windows® XP Service Pack 2, 3

Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Service Pack 2

Microsoft® Windows Vista®, Service Pack 1, 2 (32bit/64bit)

Microsoft® Windows® 7 (32bit/64bit)

Microsoft® Windows® 8 (32bit/64bit)

CPU: 1 GHz 以上の 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）プロセッサ

RAM 容量： 512MB 以上

ハードディスク空き容量：

Olympus Sonority のインストール：300MB 以上

ドライブ： CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ

ブラウザ：

Microsoft Internet Explorer 6.0 以上

ディスプレイ： 1024 x 768 ドット、65,536 色以上（1,677 万色以上を推奨）

USB ポート： 1 つ以上の空き

その他：

・オーディオデバイス

・インターネットが利用できる環境

・動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

パソコンの動作環境

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）：
MacOS-X 10.5 -10.9

CPU： PowerPC® G5 またはインテル・マルチコアプロセッサ 1.5GHz 以上

RAM 容量： 512MB 以上

ハードディスク空き容量：
Olympus Sonority のインストール：300MB 以上

ドライブ： CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ

ブラウザ： Safari 2.0 以上

ディスプレイ： 1024 × 768 ドット、32000 色以上（1,677 万色以上を推奨）

USB: ポート 1 つ以上の空き

その他：

・オーディオデバイス

・インターネットが利用できる環境 QuickTime version7.2 以上を推奨

ご注意

- Olympus Sonority の一部の機能については、QuickTime 7.2 以上が必要となります。QuickTime の最新版は、MacOS のソフトウェアアップデートで入手できます。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

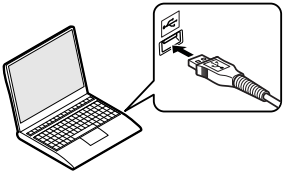
- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決して USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.138 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］メニューから行ってください（☞ P.118）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを取り外してください。

パソコンに接続する／取り外す

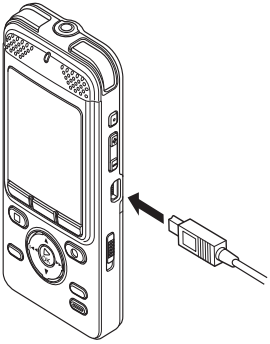
パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

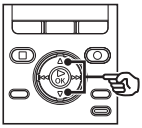
2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する



3 本機が停止していることを確認し、USB 接続ケーブルを接続する



4 ▲ または ▼ ボタンを押して［**PC 接続**］を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

- USB 接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。
- 本機の USB 接続設定で、［**AC アダプタ接続**］を選択すると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を［**PC 接続**］にしてください。

ヒント

- Windows の場合、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っている場合は［**Untitled**］と表示されます。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンに接続する／取り外す

パソコンに接続する

ご注意

- 本機のホールドは解除してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- パソコンにデータを転送するときは、**Wi-Fi ON/OFF** スイッチを OFF にしてください。**Wi-Fi ON/OFF** スイッチが ON の場合は、パソコンと接続状態になりません。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックして、**［USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します］**をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

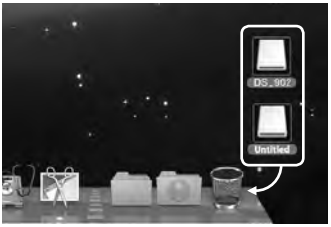
2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、USB ケーブルを取り外す

パソコンに接続する／取り外す

パソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する



2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、USB ケーブルを取り外す

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

Olympus Sonority でできること

Olympus Sonority はファイルの管理や編集をするためのさまざまな機能が搭載されています。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.145）の各項目をご覧ください。

波形編集機能

波形編集タブで音声データを簡単に加工をすることができます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存できます。

ワンタッチエフェクト機能

ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけたり、指定した領域にノイズリダクションを施せます。

ファイルを E-mail で送信する

音声ファイルはハードディスク上の［**Message**］フォルダの中に保存されています。E-mail に添付して音声ファイル送信できます。

フォルダ名を変更する

フォルダ名を変更できます。62 文字まで入力可能ですが、半角の **¥/:∗?"<>|** は入力できません。
本機で対応している言語以外の OS（オペレーションシステム）でフォルダ名変更をすると文字化けする場合があります。

コメントを編集する

本機からダウンロードしたファイルに Olympus Sonority 上でコメントをつけられます。入力できる文字数は全角 50 文字（半角 100 文字）以内です。

ファイル形式をその他の形式に変更する *

現在のファイルの保存形式を他の形式に変更できます。

Olympus Sonority でできること

ファイルを結合する

指定した複数の音声ファイルを結合して 1 つのファイルを作成できます。

ファイルを分割する

指定した 1 つの音声ファイルを 2 つのファイルに分割できます。

Olympus Sonority を使ってコンテンツを取り込む

DAISY2.0/2.02 規格のコンテンツをパソコンに取り込めます。

* MP3 形式に書き出す場合は、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが必要です（☞ P.147）。

ソフトウェアのインストール

本機をパソコンにつないでご使用になるには、同梱の CD-ROM「**Olympus Sonority**」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

インストールの前に次のことをご確認ください

- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- Administrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

Windows

1 付属の「Olympus Sonority」を CD-ROM ドライブに挿入する

- 自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順 4 に進み、起動しない場合は次の手順 2、3 にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身をエクスプローラで開く

3 CD-ROM 内にある［**Setup**］をダブルクリックする

- Olympus Sonority のランチャ画面を表示します。

4 ［オンラインユーザー登録］をクリックし、ユーザー登録を行う

5 ［Olympus Sonority インストール］をクリックする

- インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進んでください。

6 使用許諾契約の内容を確認する

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**次へ**］をクリックしてください。

7 ユーザー登録情報の登録を行う

- あなたのお名前、会社名および別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力が終りましたら［**次へ**］をクリックします。

8 セットアップタイプを選択する

- インストール先を変更ができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は［**カスタム**］を選択します。）

9 ［**インストール**］をクリックしてインストールを開始する

- インストール作業が終了し、完了画面が表示されるまでは、他の作業を行なわないでください。
- インストールが終了すると、［**Install Shield**］の完了画面が表示されます。
- 本機をパソコンに接続する場合は「**パソコンに接続する**」（☞ P.137）をご覧ください。

Macintosh

1 付属の「Olympus Sonority」を CD-ROM ドライブに挿入する

- CD-ROM の内容が表示された場合は手順3に進み、表示されない場合は手順2, 3にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身を［**Finder**］で開く

3 CD-ROM 内にある［**Setup**］をダブルクリックする

- Olympus Sonority のランチャ画面が表示されます。

4 ［**オンラインユーザー登録**］をクリックし、ユーザー登録を行う

5 ［**Olympus Sonority のインストール**］をクリックする

- インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進んでください。

6 使用許諾契約の内容を確認する

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**続ける**］をクリックしてください。

7 インストール先を選択する

- インストール先を変更できます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は、［**インストール先を変更**］を選択します。）

8 ［**インストール**］をクリックしてインストールを開始する

- インストール作業が終了し、完了画面が表示されるまでは、他の作業を行なわないでください。
- インストールが終了すると、［**インストーラ**］の完了画面が表示されます。
- 本機をパソコンに接続する場合は「**パソコンに接続する**」（☞ P.137）をご覧ください。
- Olympus Sonority 起動後、シリアル番号の入力ダイアログが表示されます。別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを削除することをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

Windows

1. Olympus Sonority を終了する
2. ［**スタート**］メニューから［**コントロールパネル**］を選ぶ
3. ［**プログラムの追加と削除**］をクリックする
   - インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。
4. ［**Olympus Sonority**］をクリックする
5. ［**変更と削除**］をクリックする
6. ［**OK**］をクリックしてアンインストールを開始する
   - 途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示にしたがって操作してください。
   - アンインストールが終わると、［メンテナンスの完了］の画面が表示されます。
7. ［**完了**］をクリックし、アンインストールを終了する

Macintosh

1. Olympus Sonority を終了する
2. [**Finder**] を開く
3. アプリケーションフォルダ内の［**SonorityUninstaller.pkg**］をダブルクリックする
   - アンインストーラが起動しますので、ウィザードに従って手順を進めてください。
   - 途中、管理者のパスワードを要求されたら、パスワードを入力して［**OK**］をクリックしてください。
   - アンインストールが終わると、アンインストール成功のメッセージ画面が表示されます。
4. ［**閉じる**］をクリックする

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイルは［**Message**］フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。［**Message**］フォルダの場所は、アンインストールする前に［**ツール**］メニューの［**オプション**］をクリックし［**管理フォルダの設定**］の項目で確認できます。

オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを表示するには、以下を行ってください。

- Olympus Sonority を起動した状態で、[**ヘルプ**] メニューから [**Olympus Sonority のヘルプ**] を選択する。

目次で検索する

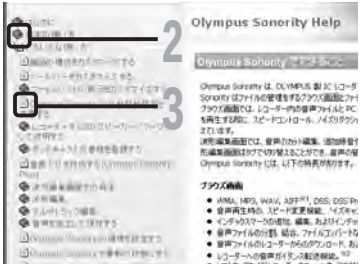
1 オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする

2 検索したい項目の [ ] をダブルクリックする

- 選択項目のタイトルが表示されます。

3 検索したい項目の [ ] をダブルクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。



キーワードで検索する

1 オンラインヘルプを表示させてから、[**索引**] の項目をクリックする

- 検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

2 キーワードをクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。

ご注意

- 本書は Olympus Sonority の基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプは Olympus Sonority のインストール後から使用できます。

DAISY について

DAISY とは Digital Accessible Information System の略で、デジタル録音図書の国際標準規格として誕生しました。図書や情報を読むことが困難な人々のために録音テープに代わるものとして利用され、今ではマルチメディア化されて音声だけでなく視覚的にも幅広く利用されています。DAISY は国際共同開発機構 DAISY コンソーシアムにより開発と維持が行われている世界共通のアクセシブルな情報システムです。

マルチメディア DAISY とはどういうもの？

パソコンで音声を聞きながら、同時に絵・写真が見られます。読んでいる箇所がハイライトされるので、どこを読んでいるのかわかるようになっています。音声のスピードを変更することや、読みたいページへ移動できます。

マルチメディア DAISY を再生するには？

本機に同梱されている Olympus Sonority をパソコンにインストールして（☞ P.142）、ブラウズ画面［**DAISY トレイ**］フォルダを選択し、再生ボタンでマルチメディア DAISY を体験することができます。再生中に文章や見出しをスキップしたり、任意の文をクリックしてすばやくその箇所へ移動できます。また、ブックマークを登録しておけば、いつでもその位置からの再生ができます。

DAISY についての詳しい情報

DAISY についての詳しい情報については、下記ホームページをご参照ください。

DAISY コンソーシアム公式ホームページ (英語のみ)：http://www.daisy.org/

財団法人日本障害者リハビリテーション協会 DAISY 関連情報ホームページ（日本語のみ）：
http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/

アップグレード機能

Olympus Sonority は、Plus 版へアップグレード（有償）することで、より高度な機能に拡張できます。また Olympus Sonority Plus では、音楽編集プラグインを購入することで高度なエフェクト編集などをお楽しみいただけます。音楽編集プラグインを追加するには、Olympus Sonority Plus のアップグレードが必要です。

ご購入およびアップグレードのしかた

Olympus Sonority Plus を購入し、Olympus Sonority からアップグレードするには、以下の手順で操作します。

1 Olympus Sonority を起動する

2 [ヘルプ]メニューの[Olympus Sonority Plus の購入]を選ぶか、ツールバーの［ ］ボタンをクリックする

- ウェブブラウザが起動し、Olympus Sonority Plus の購入サイトが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。購入完了後、画面上またはメールによりアップグレードキーが発行されます。

3 ［ヘルプ］メニューから、［アップグレードキーの登録］を選ぶ

- ［**アップグレードキーの登録**］ダイアログが表示されます。

4 アップグレードキーの登録

- 次回起動時に、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが行われ、Olympus Sonority Plus としてご利用いただけます。

Olympus Sonority Plus へのアップグレードを確認するには

ブラウズ画面で、メインツリービューのルート［**Olympus Sonority**］をクリックし、インフォメーション画面を表示させてください。アップグレードキーが登録されていることが確認できます。または［**ヘルプ**］メニューの［**Olympus Sonority について**］を選択すると、Olympus Sonority Plus に登録したアップグレードキーが表示されます。音楽編集プラグインは、２０種類以上のエフェクト機能、スペクトラムアナライザ機能が追加されます。詳細は、オンラインヘルプ（☞ P.145）をご覧ください。

ご注意

- アップグレードキーの購入には、インターネットが利用できる環境が必要です。ご利用できない場合はカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- アップグレードキーのご購入につきましては、Olympus Sonority のオンラインヘルプ（☞ P.145）をご覧ください。

アップグレード機能

Olympus Sonority Plus でできること

Olympus Sonority Plus 版は通常版の機能に加え、音楽ファイルのさまざまな編集が行える機能があります。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.145）をご覧ください。

MP3 編集

MP3 ファイルおよびタグの編集、書き出し機能。

音楽 CD の作成

CD 書き込みフォルダに登録した音声ファイルによる音楽 CD 作成機能。

音楽編集プラグイン でできること

Olympus Sonority Plus で音楽編集プラグインをご購入いただくと、音楽編集の幅が広がる高度な機能を追加できます。詳しい購入方法や操作方法については、オンラインヘルプ（☞ P.145）をご覧ください。

エフェクト機能

20 種類以上の高度なエフェクト機能をつかって、音楽ファイルをより高度に編集できます。

スペクトラムアナライザ

波形編集画面で再生中の音声の周波数分布をリアルタイムに表示します。

無制限のトラック編集

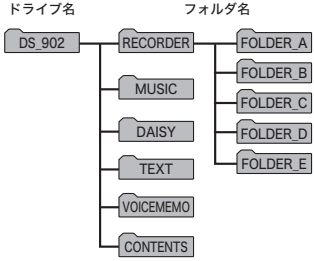
同時に編集可能なトラック数の制限がなくなります。

ファイルをパソコンに取り込む

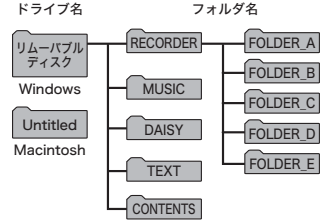
音声録音用の 5 つのフォルダは、パソコン上でそれぞれ［**FOLDER_A**］、［**FOLDER_B**］、［**FOLDER_C**］、［**FOLDER_D**］、［**FOLDER_E**］という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルが保存されています。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

■ パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名

内蔵メモリ



SD カード



- 本機では［**CONTENTS**］フォルダの内容は確認できません。
- ［**VOICEMEMO**］フォルダおよび［**CONTENTS**］フォルダ内のファイルを削除または変更すると正常に動作しなくなる場合があります。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。

パソコンの外部メモリとして使う

本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1. 本機をパソコンに接続する (☞ P.137)
2. エクスプローラを起動する
   - [**マイコンピュータ**] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
3. 製品名のフォルダをクリックする
4. データをコピーする
5. 本機をパソコンから取り外す (☞ P.138)

Macintosh

1. 本機をパソコンに接続する (☞ P.137)
   - Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
2. デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする
3. データをコピーする
4. 本機をパソコンから取り外す (☞ P.139)

ご注意

- データ通信中は [**データ送信中**] または [**データ受信中**] と表示され、LED 表示ランプが点滅します。LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

資料

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery low)	電池残量がない。	充電してください（☞ P.13、P.18）。充電してもすぐに電池がなくなる場合は電池の寿命です。新品の電池に交換してください（☞ P.12）。
ファイルロック中 消去できません (File locked)	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください（☞ P.94）。
A ～ E フォルダで 録音してください (Cannot record in this folder)	[**レコーダー**] モード以外で録音しようとしている。	[**レコーダー**] モードに切り替え、[**フォルダ A**] ～ [**フォルダ E**] を選び直して録音してください（☞ P.25、P.30）。
これ以上記録できません (No more can be set)	ファイル内でインデックスマークを最大数（99）まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください（☞ P.52）。
	ファイル内でテンプマークを最大数（99）まで使用している。	必要のないテンプマークを消去してください（☞ P.52）。
ファイル件数がいっぱいです (Folder full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（999）になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.55）。
メモリに異常があります (Memory error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください（☞ 裏表紙）。
SD カードに 異常があります (Card error)	SD カードが正しく認識されていない。	もう一度 SD カードの抜き差しを行ってください（☞ P.20、P.21）。
不正コピーされたファイルです (Illegally copied file)	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください（☞ P.55）。
メモリがいっぱいです (Memory full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.55）。
SD カードが ロックされています (SD Card Locked)	SD カードに書き込み禁止処理がされています。	SD カードの書き込み禁止処理を解除してから、もう一度操作してください（☞ P.21）。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
ファイルがありません (No file)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダに選び直してください（☞ P.27、P.30）。
初期化に失敗しました (Format error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.118）。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去してください (Can't create the system file. Connect to PC and erase unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください（☞ P.45）。
ファイルを選んでください (Select a file)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください（☞ P.27、P.30）。
同一フォルダには 移動（コピー）できません (Same folder can't be moved（copied))	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できない ファイルがあります (Some files can't be moved（copied))	移動（コピー）先に同一ファイル名があった。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音した MP3 形式、WAV 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の向きを確かめてください（☞ P.12）。
	電池残量がない。	電池を充電してください（☞ P.13、P.18）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
操作できない	電池残量がない。	電池を充電してください（☞ P.13、P.18）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.23）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.55）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.27、P.30）。
再生音が聞こえない	**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	［**スピーカ出力**］の設定が［**OFF**］になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、［**スピーカ出力**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.110）。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.42）。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.73）。
	録音レベルが低い。	録音レベルの設定を［**高（講義）**］または［**中（会議）**］にしてもう一度録音してください（☞ P.73）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.73）。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整（☞ P.73）をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音モード**］の設定がモノラル録音形式である。	［**録音モード**］の設定をステレオ形式から選んでください（☞ P.75）。
	［**ズームマイク**］の設定が＋側になっている。	［**ズームマイク**］の設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.76）。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダに選び直してください（☞ P.27、P.30）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	―――――
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
再生時、非音声部分がスキップされない	［**声だけ抽出**］の処理をしていない。	［**声だけ抽出**］を使って音声を抽出してください（☞ P.92）。
	［**声だけ再生**］の設定が［**OFF**］になっている。	［**声だけ再生**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.84）。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.94）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください（☞ P.137）。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.83）。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
録音中にイヤホンから音が聞こえない	［**録音モニター**］の設定が［**OFF**］になっている。	［**録音モニター**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.83）。
インデックスマーク・テンプマークが付けられない	マーク件数が最大（99 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.52）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.94）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	指定以外の電池を使っている。	指定の電池（LI-50B）をお使いください。
	［**USB 設定**］の設定が［**コンポジット**］になっている。	［**USB 設定**］の設定を［**ストレージ**］にしてください（☞ P.116）。
パソコン側から本機を認識できない	パソコンとの接続時に［**AC アダプタ接続**］を選んだ。	パソコンにデータを転送するときは、［**PC 接続**］を選んでください（☞ P.137）。
	本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチが ON になっている。	本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを OFF にしてください（☞ P.123）。
ボタン動作がおかしい	［**文字起こし再生**］の設定が［**ON**］になっている。	［**文字起こし再生**］の設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.90）。
ワイヤレスで接続ができない	本機の電源が入っていない。	電源を入れてください（☞ P.16）。
	本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチが OFF になっている。	本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを ON にしてください（☞ P.123）。
	接続機器の Wi-Fi の設定が正しくない。	［**Wi-Fi 設定**］の設定で［**Wi-Fi 接続**］を選んでください。SSID およびパスワードを確認してください（☞ P.121）。
	電波が届かない場所にある。	接続の間に障害物がないか確認してください。
［パスワード変更］が選択できない	本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチが ON になっている。	本機の **Wi-Fi ON/OFF** スイッチを OFF にしてください（☞ P.123）。

お手入れ

● **本機のお手入れ**

柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。

● **液晶モニタ**

柔らかい布でやさしく拭きます。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

ステレオマイクロホン：ME51SW
大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W
モノラルマイクロホン ME30 2本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31
野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

コンパクトマイクロホン（単一指向性）：ME32
三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

バウンダリーマイクロホン：ME33
左右それぞれに最大 3 台づつ接続可能な会議録音用マイクです。
カスケード接続すれば左右合わせて最大約 12m まで延長できますので、広い範囲の音を録音できます。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲の雑音の影響を軽減し、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップマイクロホン：TP8
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

USB 接続 AC アダプタ：A514
USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。（AC100-240V　50/60Hz）

コネクティングコード：KA333
両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ(φ 3.5)、またはモノラルミニミニプラグ(φ 2.5) への変換プラグアダプタ(PA331/PA231）も同梱しています。

ユーティリティーソフト：Olympus Sonority Plus
Voice-Trek で録音した音声をパソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。

アクセサリー（別売）

専用リモコンセット：RS30W

受信機を **REMOTE** ジャックに取り付けるとリモコンで本機の録音／停止の操作ができます。受信位置は調整できるので、さまざまな角度から本機を操作できます。

リチウムイオン電池：LI-50B

オリンパス製充電式リチウムイオン電池です。充電器 UC-50 をあわせてお使いいただくと便利です。

商標について

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標および登録商標について

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- SD、SDHC、SDXC は、SD Card Association の商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- 日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用して製品化されています。
- NTT エレクトロニクス株式会社からのライセンスに基づく音声区間検出技術を利用して製品化されています。
- 共栄エンジニアリング株式会社からのライセンスに基づく指向性制御技術を利用して製品化されています。
- Nuance, Nuance のロゴ、RealSpeak、VoCon は、米国とその他の国々における Nuance Communications Inc., およびその関連会社の商標または登録商標です。
- DAISY OK マークは DAISY Consortium の商標です。

商標について

- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証マークです。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

電波に関するご注意

⚠ 警告

●病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

●心臓ペースメーカーを装着している方から 22cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

●航空機内では電源を切る

運行の安全や支障をきたすおそれがあります。

商標について

機器認定について：

本製品には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
無線設備名：001-A00415

次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

Wi-Fi 機器使用上の注意事項：

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

本機は 2.4GHz 周波数帯を使用する
DSSS/OFDM 変調方式を採用しており、
与干渉距離は 40m 以下です。

商標について

この製品の内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。これらの条件を下記に示します。

Copyright (C) 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (C) 2006-2007, Marvell International Ltd. and its affiliates
All rights reserved.

1. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
2. Neither the name of Jouni Malinen, Marvell nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

商標について

Copyright (c) 2002-2007, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

PCRE LICENCE: PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language. Release 5 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.
Written by: Philip Hazel <ph10@cam.ac.uk> University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England. Phone: +44 1223 334714
Copyright (c) 1997-2004 University of Cambridge All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

商標について

Neither the name of the University of Cambridge nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(1) 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。(HTML の場合のみ)
(2) ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
(3) ©2013 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
(4) 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠ 危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

⚠ 警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

本機について

⚠ 警告

●可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。

引火、爆発の原因となります。

●分解、修理、改造をしないでください。

感電、けがをするおそれがあります。

●車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。

交通事故などの原因となります。

●本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。

幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば

- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

●SD、SDHC、SDXC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。

その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

●水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

①速やかに電池を抜いてください。

②お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

●航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。

●異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。

火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

●本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。

●通電中の AC アダプタ、充電中の電池に長時間ふれない。

充電中の AC アダプタや電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると低温やけどのおそれがあります。

●専用の当社製リチウムイオン電池、充電池、AC アダプタ以外は使用しない。

発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。また本機または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた障害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

●操作前から、音量を上げないでください。

聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

●火気のある場所に電池を置かないでください。

●火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。

火災、破裂、発火、発熱の原因となります。

●直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

●⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

●電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

●電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

●**直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。**

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

⚠ 警告

●**濡れた手で触ったり持ったりしないでください。**

感電や故障の原因となります。

●**外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。**

破裂や発熱の原因となります。

●**電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。**

液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

●**電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

●**電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**

幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

●**万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**

① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。

② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

●**水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。**

●**液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。**

●**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**

●**電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

●**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。**

●**充電池をはじめて使用する場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。**

●指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「電池について」（☞ P.18）に従って廃棄してください。

●充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

●使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕と⊖端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ（http://www.jbrc.com）をご覧ください。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

AC アダプタについて

⚠ 警告

●分解、修理、改造をしない。
感電・けがのおそれがあります。

●引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

●プラグ先端の⊕と⊖をショートさせない。
火災ややけど、感電の原因となります。

●落下や損傷により内部が露出したら、
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、やけど、けがのおそれがあります。
② 感電・火傷・けがに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

●水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

●万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。

② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

⚠ 注意

●濡れた手で触ったり持ったりしない。
感電・けがのおそれがあります。

●表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

●電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まない。

●電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しない。

●使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜く。

●電源コードを傷つけない。

- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- 火災・感電の原因となります。

液晶ディスプレイについて

●本製品の液晶ディスプレイは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。

ソフトウェアについて

⚠ 警告

●付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで再生しないでください。
スピーカやヘッドホンを破損したり、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

外付け CD/DVD ドライブについて

●当社がお客様に対して CD/DVD ドライブの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

●外付け CD/DVD ドライブは必ず AC 電源で動作させてください。

＜データ消失に関する注意事項＞

- 内蔵メモリや SD カードへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- また、内蔵メモリや SD カードは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

＜本機や SD カードの廃棄に関する注意事項＞

- 初期化（☞ P.118）や消去（☞ P.55）を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや SD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化した後、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式
WMA（Windows Media Audio）形式

■ **サンプリング周波数：**
リニア PCM 形式

48.0 kHz/16 bit	48.0 kHz
44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz

MP3 形式

256 kbps	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz

WMA 形式

32 kbps mono	44.1 kHz
8 kbps mono	8 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
3 mW + 3 mW（16 Ω負荷時）

■ **記録媒体 *：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ：4 GB
SD カード：512 MB ～ 2 GB に対応
SDHC カード：4 GB ～ 32 GB に対応
SDXC カード：64 GB に対応

* メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

■ **無線規格：**
IEEE802.11b/g に準拠
IEEE802.11n* の技術に対応
* 2.4 GHz 帯のみ
・ 通信速度・通信距離は、電波環境・障害物・設置環境など、お使いの周囲条件によって異なります。

■ **伝送方式：**
OFDM 変調方式（IEEE802.11g/n）
DSSS 変調方式（IEEE802.11b）

■ **無線通信モード：**
インフラストラクチャーモード（AP モード）

■ **セキュリティー：**
WPA2-PSK（AES/TKIP）

■ **スピーカ：**
φ 20 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **マイクジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 2.2 k Ω

■ **イヤホンジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
280 mW（スピーカ 8 Ω）

■ **電源：**
規定電圧：3.7 V
電　　池：リチウムイオン電池
外部電源:USB 接続 AC アダプタ(A514)（DC5V）

■ **外形寸法：**
115 mm × 51 mm × 17.9 mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
105 g（電池含む）

■ **使用温度：**
0 ～ 42℃

■ **同梱品：**
本体／ USB 接続ケーブル／
AC アダプタ（A514）／イヤホン／
リチウムイオン充電池（LI-50B）／
取扱説明書（保証書付）／ CD-ROM ／
USB 変換アダプタ／キャリングケース／
ストラップ

主な仕様

周波数特性

■ **マイクジャック録音時：**

リニア PCM 形式

48.0 kHz/16 bit	40 Hz ～ 23 kHz
44.1 kHz/16 bit	40 Hz ～ 21 kHz

MP3 形式

256 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
128 kbps	40 Hz ～ 17 kHz

WMA 形式

32 kbps mono	40 Hz ～ 13 kHz
8 kbps mono	40 Hz ～ 3 kHz

■ **内蔵ステレオマイク録音時：**

70 Hz ～ 20 kHz (但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる)

■ **再生時：**

20 Hz ～ 20 kHz

主な仕様

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 内蔵ステレオマイク録音時（内蔵メモリ使用時）：

録音モード		電池持続時間		
		録音モニター ON 時	録音モニター OFF 時	**Wi-Fi ON/OFF** スイッチ ON 時 *
リニア PCM 形式	44.1 kHz/16 bit	約 20 時間	約 29 時間	—
MP3 形式	128 kbps	約 19 時間	約 29 時間	約 11 時間
WMA 形式	8 kbps mono	約 16 時間	約 23 時間	—

***** 録音モニター OFF 時

■ 音声ファイル再生時（全再生モード）：

スピーカ再生時

録音モード		電池持続時間
リニア PCM 形式	44.1 kHz/16 bit	約 23 時間
MP3 形式	128 kbps	約 21 時間
WMA 形式	8 kbps mono	約 22 時間

イヤホン再生時

録音モード		電池持続時間
リニア PCM 形式	44.1 kHz/16 bit	約 29 時間
MP3 形式	128 kbps	約 26 時間
WMA 形式	8 kbps mono	約 27 時間

■ 停止時（**Wi-Fi ON/OFF** スイッチ ON 時）：

電池持続時間：約 17 時間 *****

* 電池持続時間は電波環境・障害物・設置環境など、お使いの周囲条件によって異なります。

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変わります（特に録音モニター、ズームマイク、声だけ抽出、ノイズキャンセル、ボイスバランサー、文字起こし再生、再生速度、Wi-Fi 等の機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します）。
- SD カードご使用時は電池持続時間は短くなります。

主な仕様

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

記録メディア		録音モード	
		48.0 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
内蔵メモリ	4 GB	約 4 時間 35 分	約 5 時間
SD カード	64 GB	約 89 時間 30 分	約 97 時間 25 分
	32 GB	約 44 時間 45 分	約 48 時間 40 分
	16 GB	約 22 時間 20 分	約 24 時間 15 分
	8 GB	約 11 時間 5 分	約 12 時間 5 分

■ MP3 形式：

記録メディア		録音モード	
		256 kbps	128 kbps
内蔵メモリ	4 GB	約 27 時間 30 分	約 55 時間
SD カード	64 GB	約 535 時間	約 1,070 時間
	32 GB	約 268 時間	約 535 時間
	16 GB	約 134 時間	約 268 時間
	8 GB	約 66 時間	約 133 時間

■ WMA 形式：

記録メディア		録音モード	
		32 kbps	8 kbps
内蔵メモリ	4 GB	約 218 時間	約 850 時間
SD カード	64 GB	約 4,200 時間	約 16,420 時間
	32 GB	約 2,100 時間	約 8,200 時間
	16 GB	約 1,040 時間	約 4,090 時間
	8 GB	約 520 時間	約 2,040 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の SD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。

主な仕様

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、WMA 形式、MP3 形式は約 4GB、リニア PCM 形式（WAV）は約 2GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	録音時間
48.0 kHz/16 bit	約 3 時間
44.1 kHz/16 bit	約 3 時間 20 分

■ MP3 形式：

録音モード	録音時間
256 kbps	約 37 時間 10 分
128 kbps	約 74 時間 30 分

■ WMA 形式：

録音モード	録音時間
32 kbps mono	約 291 時間 30 分
8 kbps mono	約 1,139 時間 20 分

記録可能な曲数

以下の値はあくまでめやすです。

4GB	約 800 曲

128 kbps、1 曲 4 分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

+ーボタン 4, 42
▲▼ボタン 4, 16
►►I I◄◄ ボタン 4, 16, 30, 43
►**OK** ボタン 4, 16, 41, 45

アルファベット

A

ABC リピート 46

D

DAISY 再生用フォルダ 28
DAISY 取り込み 129
[DAISY] モード 8, 25, 146

F

F1 ボタン 4, 30
F2 ボタン 4, 52, 53
F3 ボタン 4, 47, 115

H

HTML 読み上げ 128

L

LED [LED] 105
LED 表示ランプ 4, 33, 105, 139

M

MP3 ..... 45, 75

O

OLYMPUS Audio Controller 133
Olympus Sonority 140, 141

S

SD カード 20

U

USB 接続 AC アダプタ（A514） 13
USB 接続ケーブル 14
USB 設定 116
USB 端子 4, 13

W

WAV 45, 75
Wi-Fi ON/OFF スイッチ 4, 123
Wi-Fi 設定 121, 131
WMA 45, 75

かな

い

イヤホンジャック 4, 38, 43
インデックスマーク 52

お

音楽再生用フォルダ 27
音楽ファイル 45
音声ガイド 108
音声認識機能 31
音声録音用フォルダ 27

か

カードカバー 4, 20
外部マイク 37
外部メモリ 150
カレンダー検索 53

け

言語選択 107

こ

声だけ再生 84
声だけ抽出 92
コネクティングコード 38
コンテンツ消去 103

索引

さ

再生スピード 46
再生設定 84
再生モード 87

し

シーン / ボイスボタン 4, 31, 39
しおり機能 50
システム情報 121
充電 13, 14, 18
消去ボタン 4, 55, 56, 57
初期化 118

す

ズームマイク 76
スキップ間隔 88
スキップモード 124
［スケジュール］モード 10, 25, 59
ストラップ取り付け部 4
スピーカ出力 110
スリープ 113

せ

設定リセット 117

た

タイマー録音 78

て

停止（■）ボタン 4, 33, 42
ディスプレイ 4, 5
テキスト言語 126
［テキストスピーチ］モード 9, 25
テキストファイル再生用フォルダ 28
電源 / ホールドスイッチ 4, 16, 24
電池カバー 4, 12
電池カバーロック解除レバー 4, 12
電池表示 19
テンプマーク 52

と

動作環境 135
時計設定 114

な

内蔵ステレオマイク 4, 33
内蔵スピーカ 4, 111
並び替え 96

の

ノイズキャンセル 85

は

バックライト 104

ひ

ビープ音 106
表示／音設定 104

ふ

ファイル 30
ファイル移動／コピー 97
ファイル設定 92
ファイル表示 6, 7
ファイル分割 100
ファイルリスト表示 6, 7
ファイルロック 94
フォルダ 30
フォルダ名 82
フォルダリスト表示 6, 7
ブック設定 124
プロパティ 101

ほ

［ホーム］画面 25
ホームボタン 4, 25
ボイスバランサー 86
ボイスメモ 60
本体設定 112

ま

マイクジャック 4, 37

み

［ミュージック］モード 7, 25

め

メニュー設定 65
メニューボタン 4, 65
［メニュー］モード 25, 65
メモリ情報 120
メモリ選択 112

も

文字起こし再生 90
文字コード 125

り

リモートジャック 4

れ

［レコーダー］モード 6, 25

ろ

ローカットフィルタ 77
録音シーン 39
録音設定 73
録音（●）ボタン 4, 33
録音モード 75
録音モニター 83
録音レベル 73

MEMO

MEMO

MEMO

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ . ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ . お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ . 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ . 本書のご提示がない場合。
   - ホ . 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ . 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN）販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒 192-8507 東京都八王子市石川町 2951

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1 年	無 料	
品 名	ボイストレック	型 名	DS-902
シリアル No.		お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名			

無効

オリンパス イメージング株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーコール **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX 042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」
0120-971995
営業時間：平日 8：00～20：00
土・日・祭日 9：00～18：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。